

第6次豊丘村総合振興計画

2023~2032
(R5 ~ R14)

もっと ずっと
ともに とよおか



豊丘村

第6次豊丘村総合振興計画 策定にあたって

豊丘村では、平成25年度から令和4年度までの10年間のむらづくりの指針となる計画「第5次豊丘村総合振興計画」に基づき、ふるさとの原風景である「豊丘らしさ」を守りながらも、農商工が連携した新たな産業振興、未来を拓く人づくり等の新たな「豊丘スタイル」を創ることを目標として、様々な事業を行ってきました。

この10年間、我が国は自然災害の激甚化、新たな感染症の脅威、またICT技術の発展などにより、これまで経験したことのないスピードで変化してきました。豊丘村を取り巻く環境も、リニア中央新幹線のルート決定、道の駅 南信州とよおかマルシェの開業などにより大きく変わりつつあります。このように先の見通しが困難な時代にあっても、ぶれない軸を持ちつつ、社会環境や住民ニーズの変化を的確に捉えながら柔軟に対応し、活力あるむらづくりを進めていかなければなりません。

令和5年度～令和14年度を対象期間とした次期10年間の計画「第6次豊丘村総合振興計画」では、これら社会環境の変化に対応しながらも、守るべきものは守っていくという方針の下、10年後に目指す将来像を「もっと ずっと ともに とよおか」と設定し、その実現に向けた具体的な取組みの方向性を掲げました。この将来像には、次の意味が込められています。

「もっと」・・・今後10年の間に、伊那谷はリニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通という歴史的な巨大プロジェクトにより大都市圏との交流が盛んになり、新たな働き方や暮らし方が可能な地域となります。高まるポテンシャルを最大限に生かし、積極的なむらづくりを進めていきます。

「ずっと」・・・豊丘村の魅力を守りながら、産業、環境、行財政等あらゆる分野を次世代につなげていきます。

「ともに」・・・村民誰もが、共に学び、取り組み、思いやり、支え合い、また多様な価値観が尊重され、安全・安心に暮らせるむらづくりを目指していきます。

今後10年間、この「もっと ずっと ともに とよおか」の具現化を目指し、各種施策を積極的に展開してまいります。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただいた村民の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました策定委員の皆様、そして関係された多くの方々に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、今後も村政の円滑な推進にご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年3月

豊丘村長 下平喜隆



目次

第1部 序論 ……………3	第3部 基本計画 ……………25	
1 総合振興計画とは……………4	1 豊丘らしさを生かした産業振興……………27	6 誰もがいきいきと安心して暮らせる地域づくり……………53
(1)計画策定の趣旨……………4	1-1 リニア開業を見据えた産業振興……………28	6-1 健康づくりの推進……………54
(2)計画の役割……………4	1-2 賑わいの拠点づくり……………29	6-2 地域医療の充実……………55
(3)計画の構成・計画期間……………5	1-3 農業振興の推進拠点づくり……………30	6-3 地域共生社会の実現……………56
2 時代の潮流……………6	1-4 商工業の活性化……………31	6-4 高齢者福祉の充実……………57
3 豊丘村の特徴……………8	1-5 森林資源の活用……………32	6-5 障がい者福祉の充実……………58
4 住民の意識等……………10	2 若者の移住・定住……………33	6-6 多様性を認め合う社会の実現……………59
5 これからのむらづくりの課題……………13	2-1 移住相談・情報発信の充実……………34	7 安全・安心を守る基盤整備と体制強化……………61
第2部 基本構想 ……………15	2-2 魅力的な居住・生活環境の整備……………35	7-1 防災・減災対策、国土強靱化の推進……………62
1 むらづくりの基本姿勢……………16	2-3 就労環境の充実……………36	7-2 消防・自主消防体制の強化……………63
2 むらの将来像……………16	2-4 結婚・出産・子育て支援の充実……………37	7-3 防犯・交通安全対策の充実……………64
3 施策の大綱……………18	2-5 郷土に対する誇り・愛着の醸成……………38	8 快適かつ自然と共生した生活環境の整備……………65
(1)基本方向……………18	3 交流人口・関係人口の拡大……………39	8-1 公共交通の充実……………66
(2)基本目標……………19	3-1 観光資源・コンテンツの充実……………40	8-2 上下水道事業の安定運営……………67
(3)共通する視点……………24	3-2 効果的なプロモーションの充実……………41	8-3 資源循環型社会・地球温暖化防止対策の推進……………68
	3-3 多様なつながりの創出……………42	8-4 里山風景の保全……………69
	4 未来を担う子ども・若者の育成……………43	9 コミュニティの強化と協働・連携の推進……………71
	4-1 学校教育の充実……………44	9-1 コミュニティの活動の活性化支援……………72
	4-2 多様な体験・交流の充実と居場所づくり……………45	9-2 連携ネットワークの構築……………73
	4-3 子どもの権利擁護と子育て支援の充実……………46	9-3 むらづくりへの住民参画の促進……………74
	5 生涯を通じた学びと文化の創造と継承……………47	10 戦略的なむらづくりの推進……………75
	5-1 生涯学習・スポーツの機会の充実……………48	10-1 効果的・効率的な施策・事業の推進……………76
	5-2 生涯学習・スポーツ拠点の活用……………49	10-2 安定的な財源の確保……………77
	5-3 指導者の確保・育成……………50	10-3 職員の資質向上、体制の強化……………78
	5-4 文化財の保護・伝統文化の継承と活用……………51	10-4 広域行政の推進……………79

第6次豊丘村総合振興計画

第1部 序 論

第2部 基本構想

第3部 基本計画



第1部 序 論

1 総合振興計画とは

10年後のむらの目指す姿を思い描き、その実現に向けて取り組むための計画です

(1) 計画策定の趣旨

人口減少・少子高齢化の進行に加え、情報通信技術のさらなる発達・普及や安全・安心や環境問題等への関心の一層の高まり、価値観の多様化、新型コロナウイルス感染拡大による影響など、むらづくりを取り巻く環境は大きく変化しています。また、本村では、リニア中央新幹線の開業を見据え、「豊丘スタイル」を体現する道の駅「南信州とよおかマルシェ」が平成30年(2018年)4月にオープンしました。

令和5年度を初年度とする「第6次豊丘村総合振興計画」(以下、「本計画」という)は、こうした社会情勢や経済動向、地域の実情を十分に踏まえつつ、10年後のむらの目指すべき姿を思い描き、その実現に向けた戦略的な取り組みを計画的に推進するために策定するものです。

(2) 計画の役割

本計画は、本村の最上位計画として、むらづくりの方向性を示す「総合指針」となるものです。また、多様な主体との連携・協働によるむらづくりを進めるための「共通目標」であり、さらに、本村のむらづくりの方向性を内外に示す「プロモーション」としての役割も果たします。

むらづくりの方向性を示す
総合指針

連携・協働を推進するための
共通目標

本村の政策を内外に示す
プロモーション

(3) 計画の構成・計画期間

本計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されます。それぞれの役割と計画期間は、次のとおりです。

■基本構想

中長期的な視野をもって総合的かつ戦略的にむらづくりを推進するため、村がめざすべき将来の姿、向かうべき方向(ランドデザイン)を明らかにするものです。

計画期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間です。

■基本計画

基本構想に掲げたランドデザインの実現に向けて、効果的な取組みを計画的かつ着実に推進するため、5年間で取り組むべき施策の方向性を示すものです。

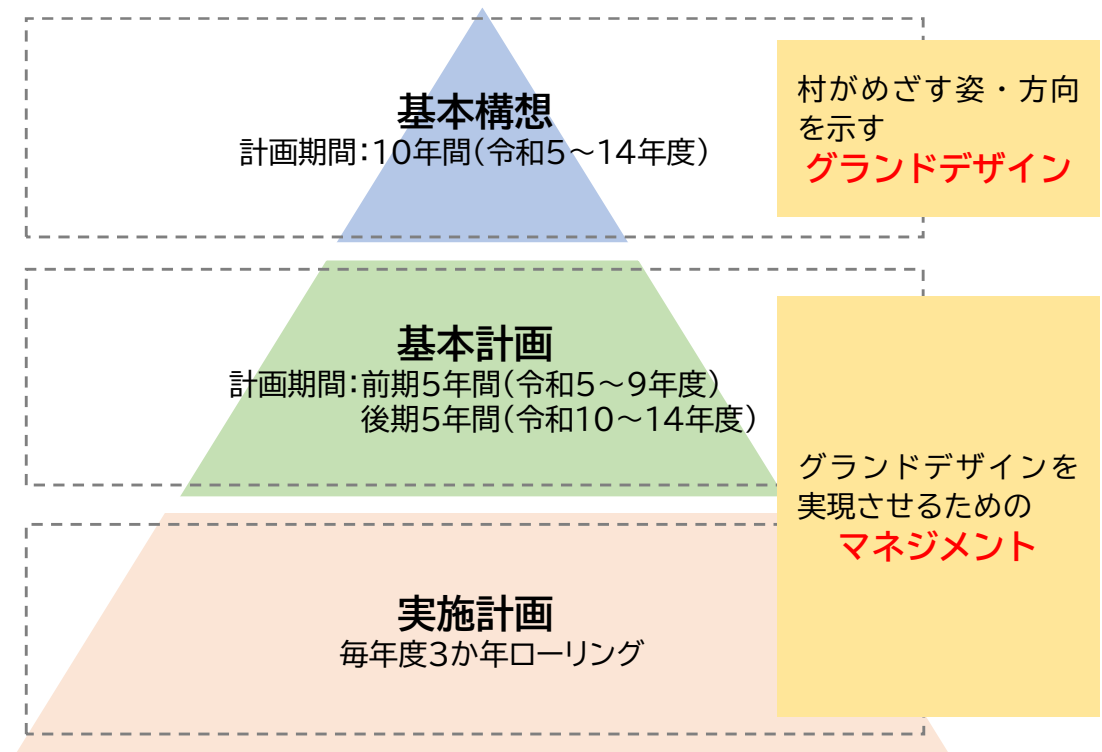
計画期間は、前期基本計画が令和5年度から令和9年度までの5年間、後期基本計画が令和10年度から令和14年度までの5年間です。

■実施計画（別冊）

基本計画に示した施策を推進するための具体的な事業を示すものであり、毎年度の予算編成の指針となるものです。

3年を1期間とし、毎年度見直しを行うローリング方式により策定します。

【本計画の構成イメージ】



	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
基本構想	R5～R14(10年間)									
基本計画	前期:R5～R9(5年間)					後期:R10～R14(5年間)				
実施計画	3年			3年			毎年度3年ローリング方式			

2 時代の潮流

■人口減少・少子高齢化の進行

- 人口減少、少子高齢化が加速すると予想されており、地域社会や経済活動の担い手不足、社会保障費の増大が懸念されます。
- 少子化対策と地方への若者の移住・定住に向け、国を挙げて地方創生に取り組んでいます。
- 人生100年時代において、村民皆が生涯にわたって活躍できる地域社会が求められています。

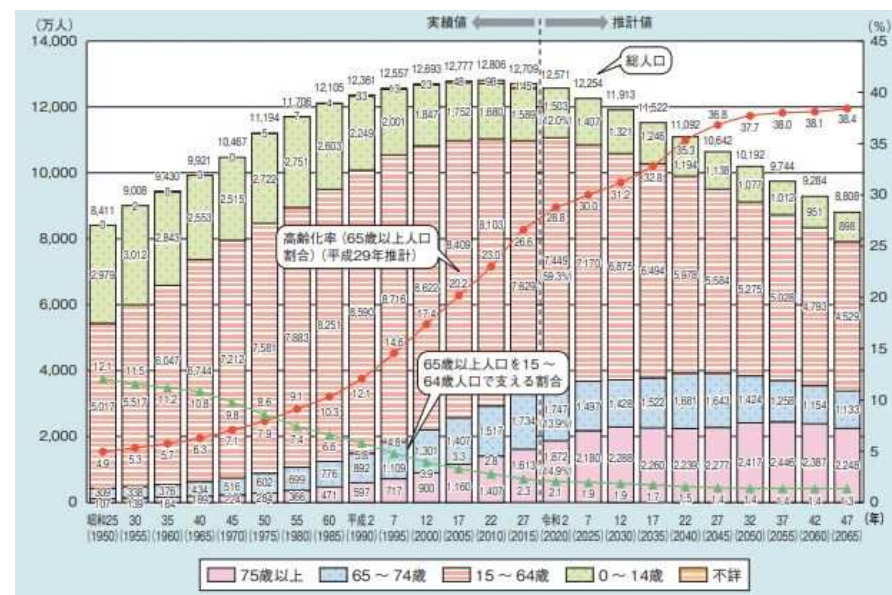
■デジタル化の進展

- 情報通信技術の発達・普及は、消費生活やコミュニケーションのあり方に変化をもたらし、IoT*¹やAI*²、ビッグデータ*³を活用した付加価値の創造や生産性の向上、市場開拓等が注目されています。
- 経済発展と地域課題の解決の両立を図る「Society5.0」や業務改革につなげる「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」、都市機能の効率化・高度化を目指す「スマートシティ」の実現に向けた取組み等が推進されています。

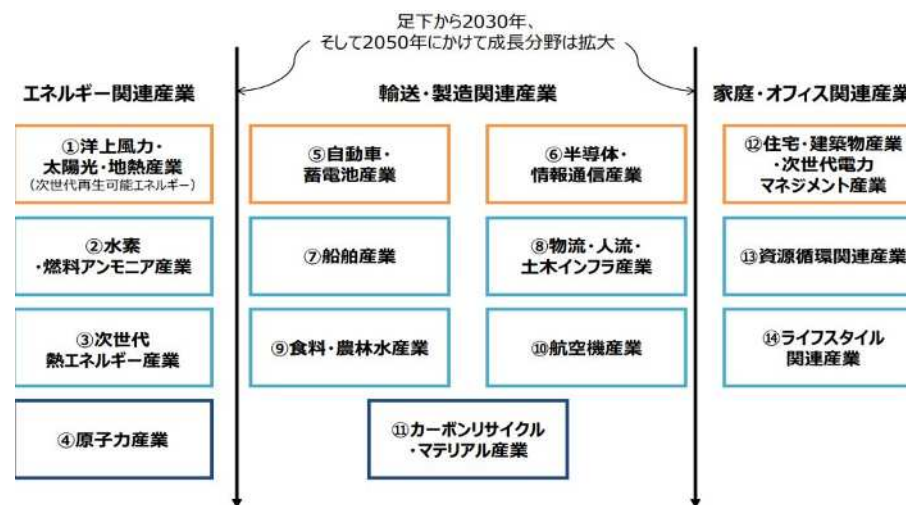
■環境問題への関心の高まり

- 地球温暖化や海洋汚染をはじめ、環境問題に対する関心が高まっており、低炭素社会の構築や自然との共生等、環境問題は世界的規模で取り組むべき課題となっています。
- 国は「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けた取組を推進するとともに、カーボンニュートラルに伴う産業構造転換と「グリーン成長戦略」を推進しています。

【日本の将来推計人口】



【グリーン成長戦略で成長が期待される14分野】



出典：経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」

1. IoT：『Internet of Things』の略。さまざまなモノがインターネットに接続され、相互に情報交換をする仕組み。
 2. AI：『Artificial Intelligence』の略。人間の知能をコンピュータによって再現する技術のこと。
 3. ビッグデータ：従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大データ群。日々膨大に生成、記録される時系列性・リアルタイム性のあるようなものを指すことが多く、これらのデータ群を記録・保管して即座に解析することで、ビジネスや社会に有用な知見を得られるとされる。

【平成26年以降の主な災害】

■安全の確保・安心ニーズ

- 自然災害などに対する不安が高まっています。国は、強さとしなやかさを備えた国土・地域・経済社会を構築する「国土強靱化」を目指しています。
- 虐待や暴力、いじめなど、人権や生命を脅かす事件が多発しているほか、SNS*1を介した犯罪等が社会問題化しています。
- コロナ禍は人々の心身の健康や社会経済活動に大きな影響を与えており、村民の命と暮らしを守るとともに、新たな日常を見据えたむらづくりが求められています。

■価値観の多様化・多様性

- 一人ひとりの価値観が多様化し、就労形態や暮らし方、家族のあり方等にも変化が生じており、それらに対応したむらづくりが求められています。
- 在留外国人が増えてきており、国籍・民族による文化の違いを認め合い、地域で共に暮らしていく「多文化共生社会」の形成が求められています。
- 性別・SOGI(性的指向・性自認)、障がい等による違いを尊重し、認め合う社会が求められています。

■持続可能性

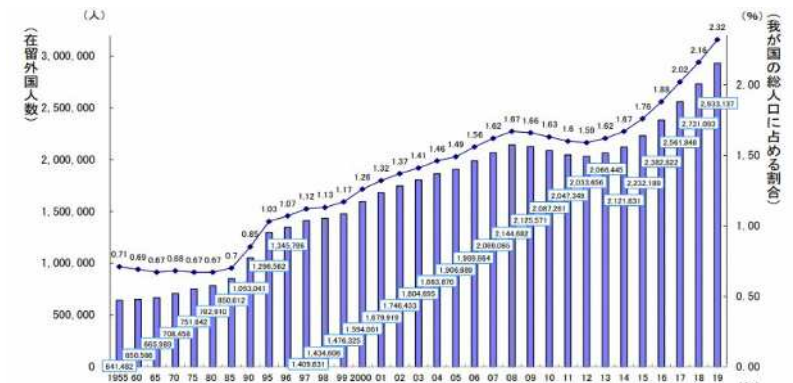
- 人口減少・少子高齢化が見込まれる中、今後もむらの活力を維持していくためには、地域の強みと資源を有効活用した行財政運営が不可欠になっています。
- 2015年には、国連サミットにおいて「持続可能な開発目標(SDGs)」が提唱され、この達成へ向けた取組みを実行していくことが求められています。

1. SNS：『Social Networking Service』の略。登録した利用者同士が交流できるWEBサイトの会員制サービスのこと。



出典：内閣官房「防災・減災国土強靱化のための3か年緊急対策による取組事例集」より

【在留外国人数・割合の推移】



出典：内閣府「多文化共生事例集作成ワーキンググループ」事務局説明資料より

【SDGsの17のゴール】



3 豊丘村の特徴

■河岸段丘を形成する河川が天竜川に注ぐ、南信州のむら

○本村は、長野県下伊那郡の北部、天竜川の東側に位置し、東は鬼面山および大西山等の伊那山脈を境として大鹿村、飯田市上村に続き、南は高関山境に喬木村に接しています。また、西は天竜川を隔てて高森町、松川町に相對し、北は間沢川をはさんで松川町生田に接しています。

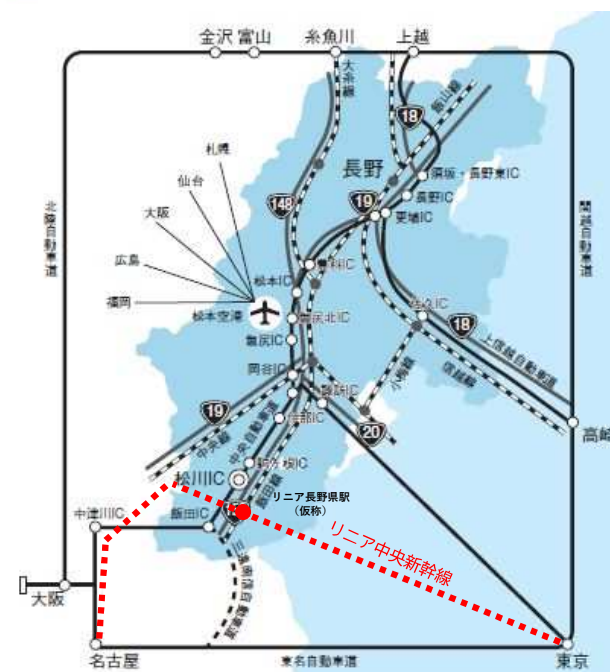
○地質は、天竜川の沖積地帯(下段)、伊那層上に火山灰を堆積した洪積台地(中段)、花崗岩の基盤上を砂質土で覆った山間地帯(上段)から成っており、伊那山脈に源を発する壬生沢川、虻川、漆沢川、芦部川、寺沢川、市の沢川、間沢川の一級河川が、いずれも段丘を横断して渓谷をつくり天竜川に注ぐなど起伏に富んでいます。

■高速交通網が整備され、広域移動の利便性が高い

○本村に鉄道駅はありませんが、天竜川をはさんだ西側にJR飯田線が通っており、最寄り駅の市田駅には村の中心部から徒歩約15分で行くことができます。

○高速道路は、中央自動車道松川IC及び座光寺スマートIC、飯田ICまで車でそれぞれ約15分、約25分の距離となっています。

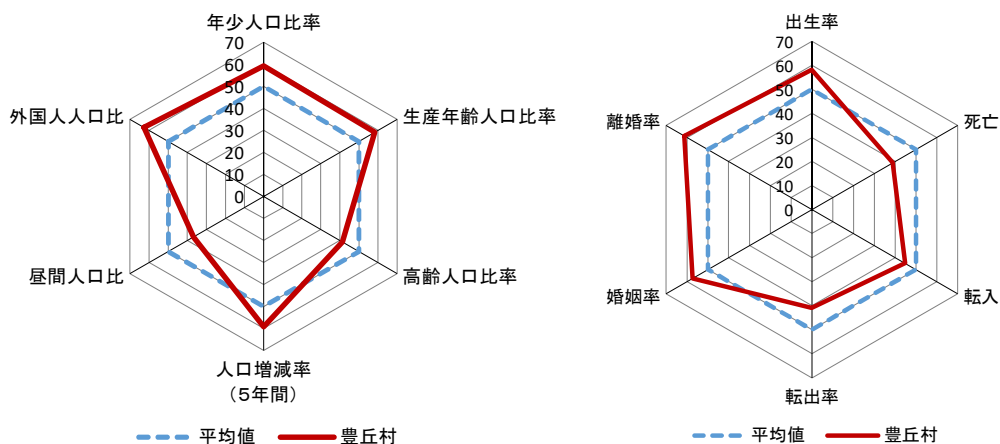
○リニア中央新幹線の開通が予定されており、村中心部から車で15分程度の飯田市上郷に「長野県駅(仮称)」が設置されるほか、南信州と静岡県浜松市を結ぶ三遠南信自動車道の整備も進められており、本村へのアクセスの利便性が高まり、交流、交易の活性化が期待されます。



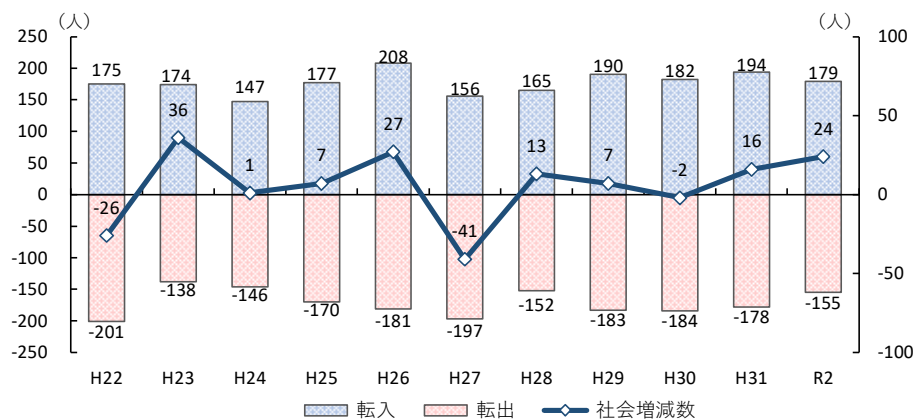
■若い人の割合が高く、人口減少が抑えられている

- 南信州の中では年少人口、生産年齢人口の比率が高く、高齢人口比率が低くなっており、比較的若い世代の割合が多い地域となっています。
- 過去5年間の人口増加率は3番目に高く、減少幅が抑えられており、近年は転入超過の年が多くなっています。

【南信州14市町村における豊丘村の偏差値】



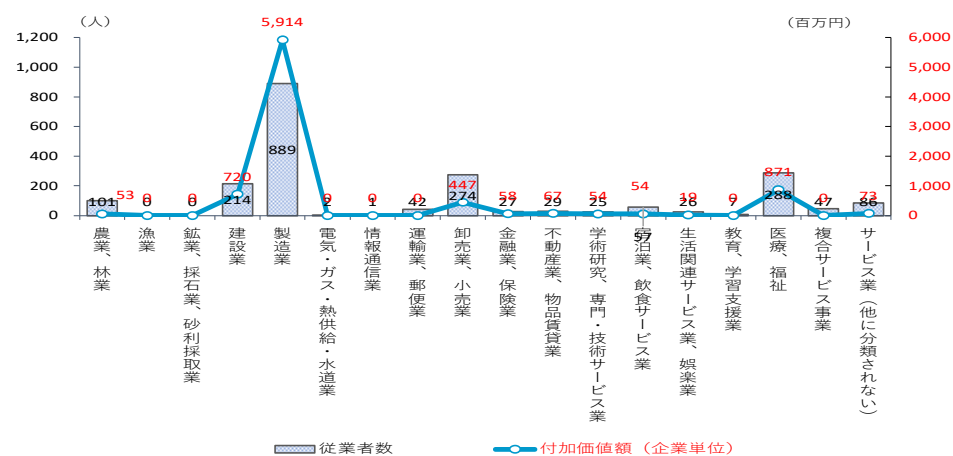
【転入数・転出数・社会増減の推移】



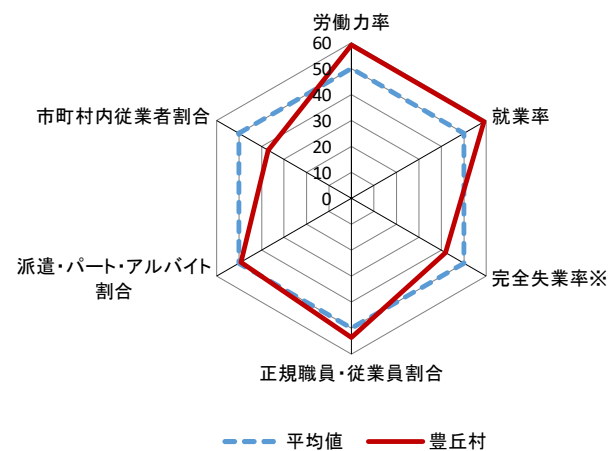
■製造業が盛ん、村外で働く人が多い

- 就業者数、付加価値額はともに製造業が高く、本村の中心的な産業となっています。一方、産業別売上高の構成比を全国や県と比べると、宿泊業、飲食サービス業で低い特徴がみられます。
- 労働力率、就業率が南信州の中で最も高くなっています。また、村内で働く人の割合が郡内で最も低くなっています。

【産業別 就業者数・付加価値額(H28)】



【南信州14市町村における豊丘村の偏差値】

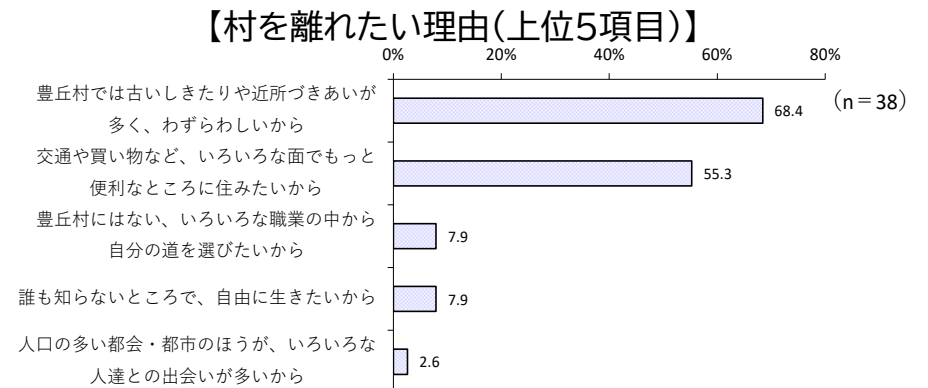
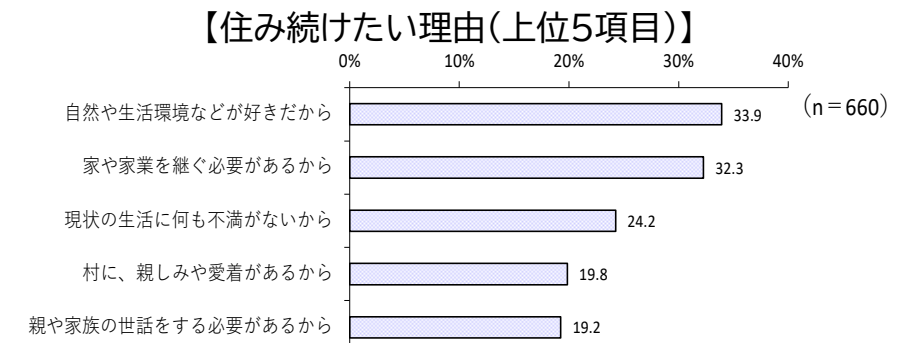
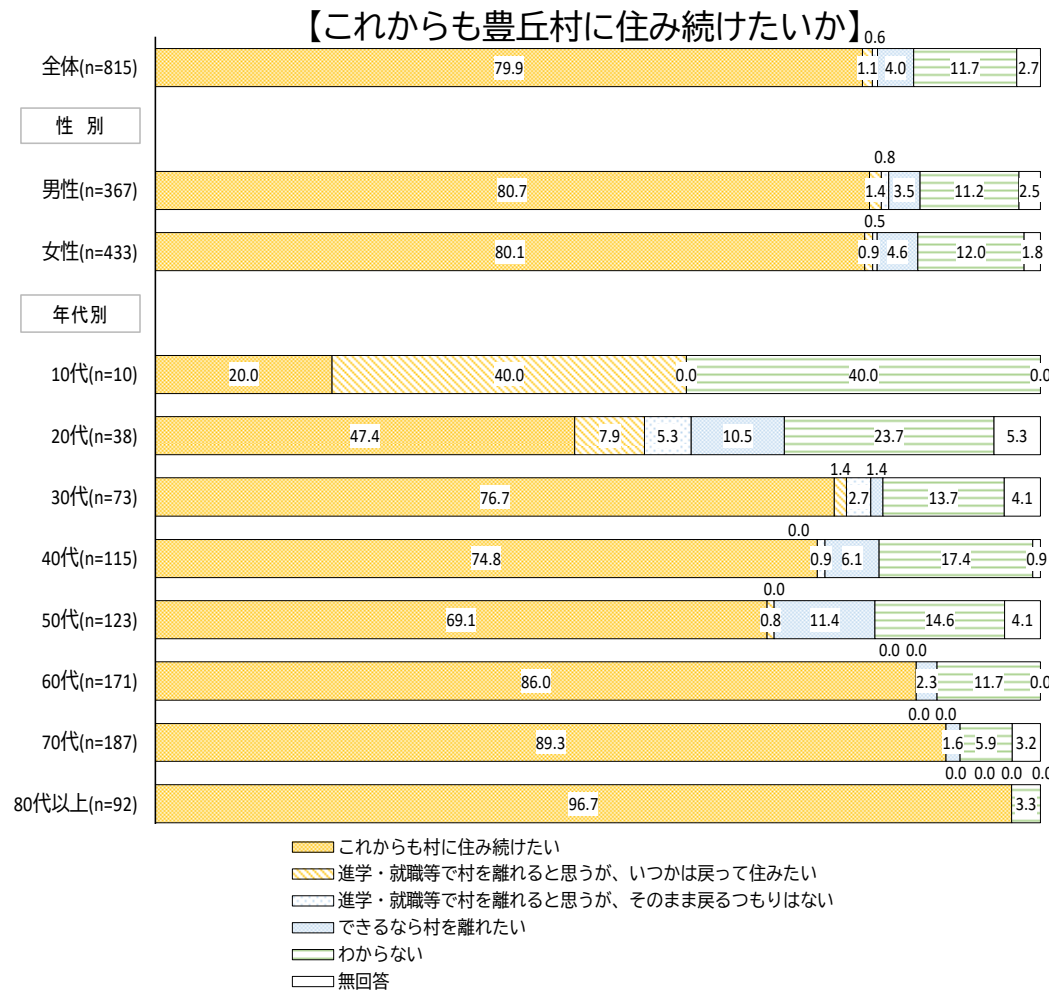


3 住民の意識等

■定住意向

○約8割の人が「これからも豊丘村に住み続けたい」と回答しています。年代が上がるにつれて「これからも住み続けたい」の割合が高くなっています。10代では4割が「わからない」と回答しています。

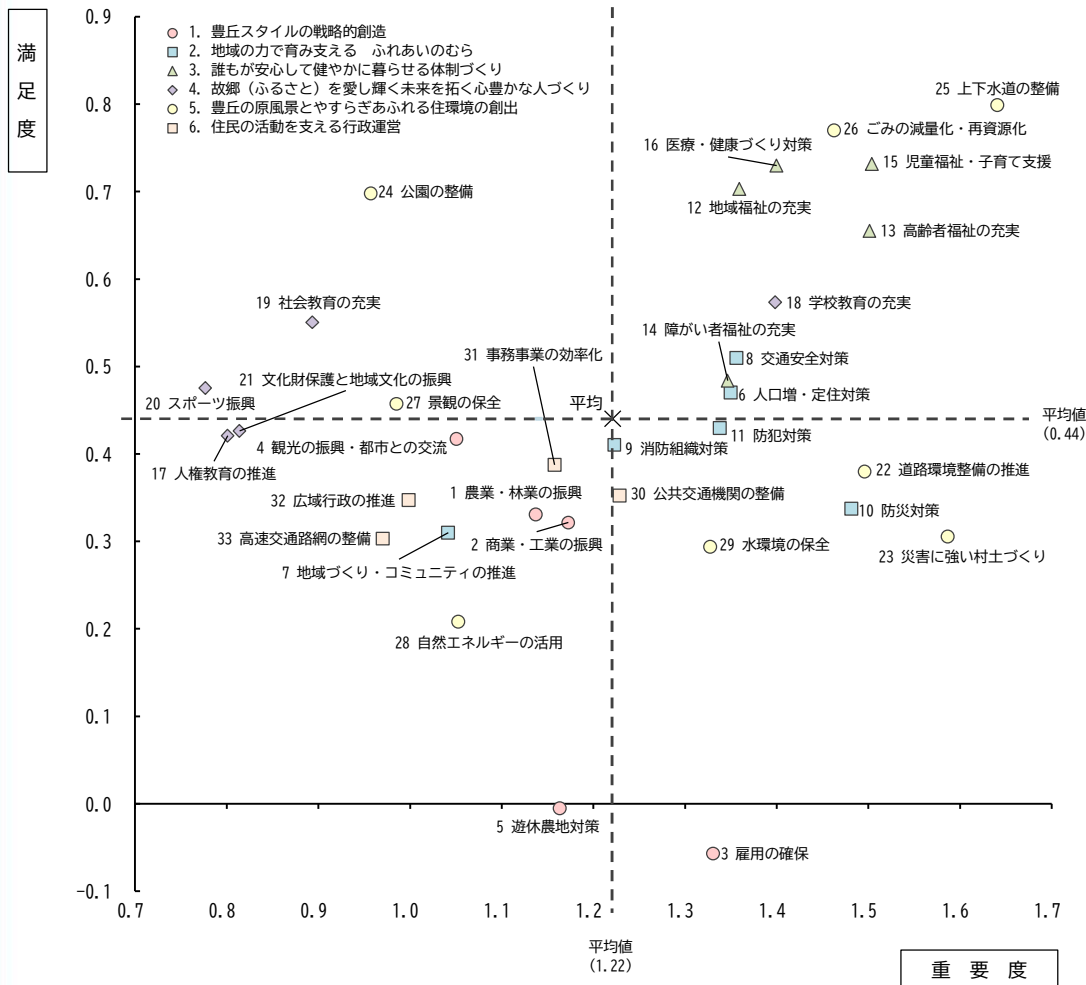
○住み続けたい理由は、「自然や生活環境などが好きだから」「家や実家を継ぐ必要があるから」、村を離れたくない理由は、「豊丘村では古いしきたりや近所づきあいが多く、わずらわしいから」「交通や買い物など、いろいろな面でもっと便利なところに住みたいから」の割合が高くなっています。



■村の取組みの評価

- 満足度、重要度ともに高い施策は、「上下水道の整備」「ごみの減量化・再資源化」「児童福祉・子育て支援」等となっています。
- 満足度が低く、重要度が高い施策は、「雇用の確保」「災害に強い村づくり」「防災対策」等となっています

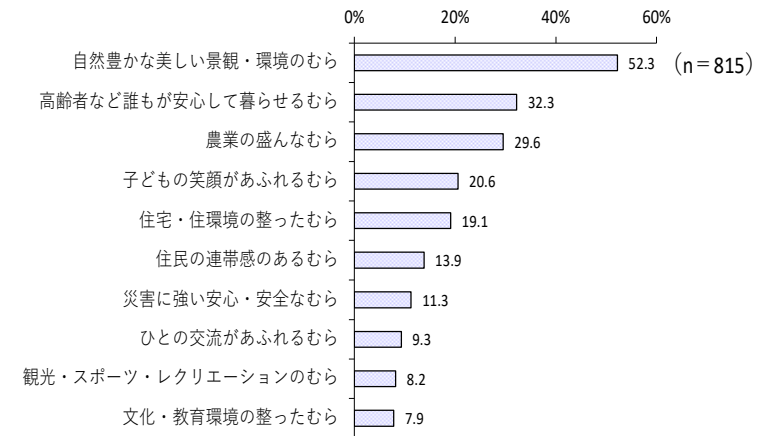
【施策の満足度・重要度】



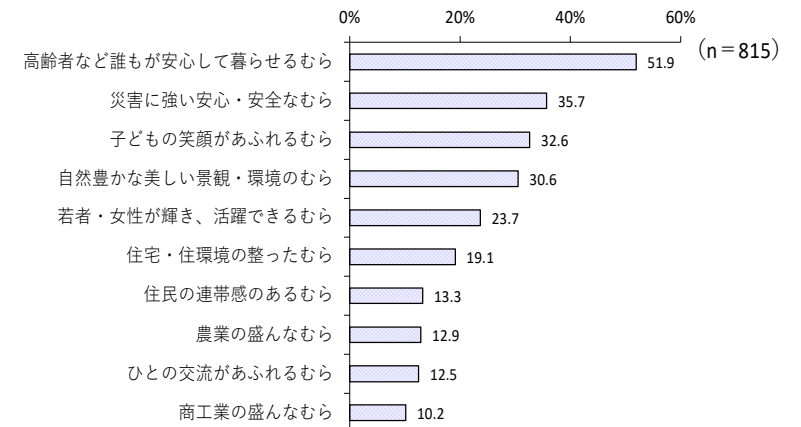
■村のイメージ

- 現在の豊丘村のイメージは、「自然豊かな美しい景観・環境のむら」「高齢者など誰もが安心して暮らせるむら」「農業の盛んなむら」等となっています。
- 将来の豊丘村のイメージは、「高齢者など誰もが安心して暮らせるむら」「災害に強い安心・安全なむら」「子どもの笑顔があふれるむら」等となっています。

【現在の豊丘村のイメージ(上位10項目)】



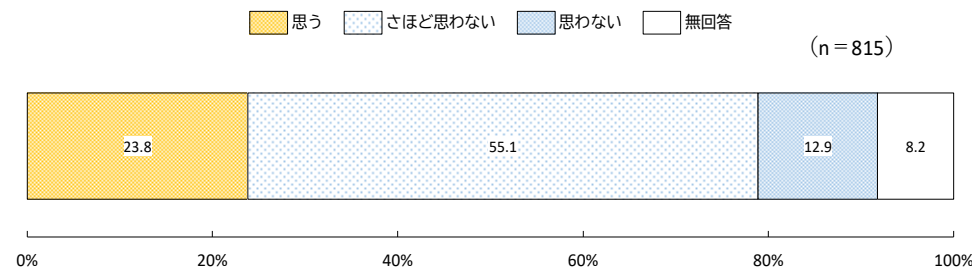
【将来の豊丘村のイメージ(上位10項目)】



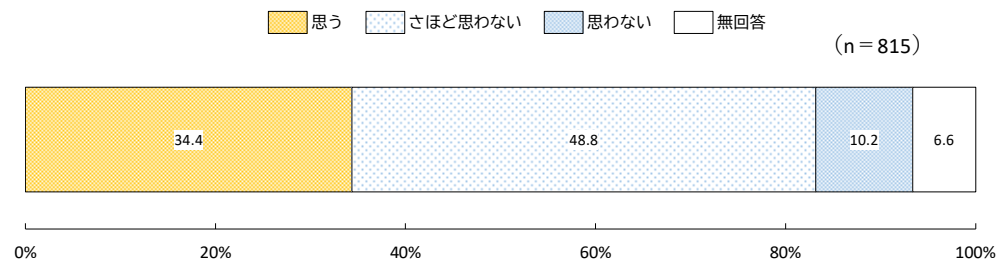
■リニア開業後の変化

○リニア開業後に村民の暮らしや飯田下伊那地域の経済が良くなると思うかどうかについて、「さほど思わない」が5割前後となっており、リニア開業の効果に期待をさほど寄せていない状況がうかがえます。

【リニア開業後に村民の暮らしが良くなると思うか】



【リニア開業後に飯田下伊那地域の経済が良くなると思うか】

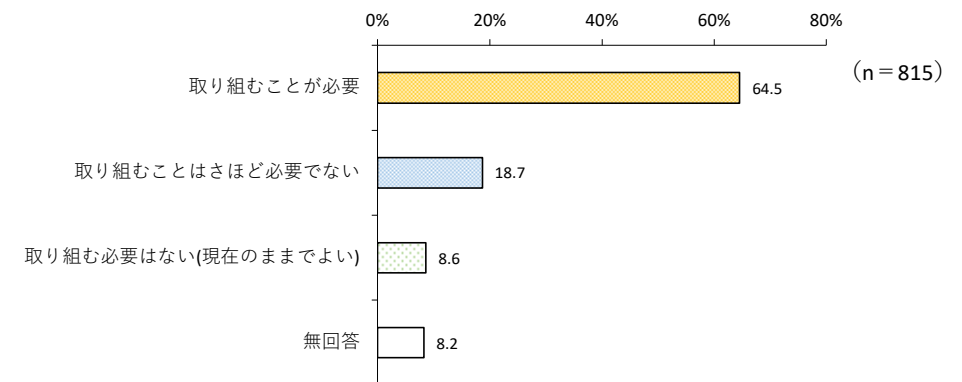


■リニア開業に備えた取組

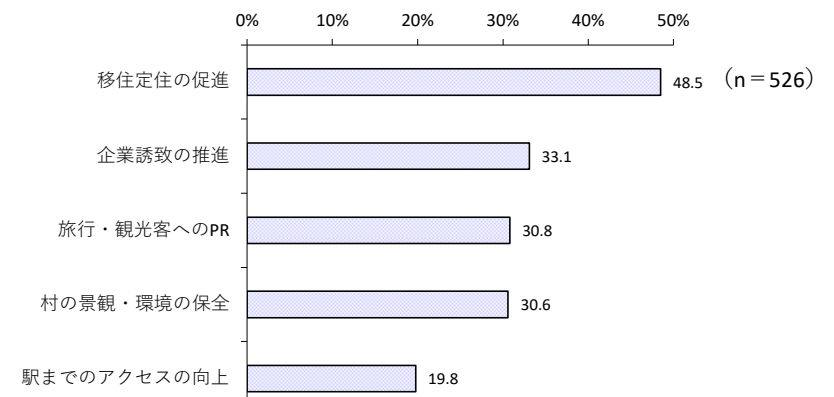
○リニア開業に備えて新たな村づくりに取り組む必要性については、「取り組むことが必要」が6割強と高くなっています。

○「取り組むことが必要」と回答した人に、特に必要な取組について伺ったところ、「移住定住の促進」「企業誘致の推進」「旅行・観光客へのPR」等が上位に来ています。

【リニア開業に備えた新たな村づくりの必要性】



【リニア開業に備えて必要な取組み(上位5項目)】



4 これからのむらづくりの課題

時代潮流



豊丘村の特徴



住民意識

時代潮流や豊丘村の特徴、住民意識等を踏まえ、これからのむらづくりの課題を以下のとおり整理しました。

これからのむらづくりの課題

■リニア開業等を契機とした賑わい・活力の創出

より多くの人々が訪れ、働き、価値が生み出されるための素地を作っていくとともに、その利便性や本村が持つ魅力を活かした産業振興を図っていくことが重要です。

■若者の移住・定住、少子化対策の推進

若者にとって魅力的なむらづくりを進め、移住・定住を促進するとともに、希望する結婚・出産・子育ての実現を応援するための取組みの充実が必要です。

■交流人口・関係人口の拡大

人口減少時代において村の活力を維持していくためにも、継続的に村を訪れたり、関わっていく交流人口、関係人口を拡大していくことが重要です。

■次代を担う子ども・若者の育成

子ども・若者が夢や希望を持ちながら健やかに育ち、村で暮らし、あるいは村と関わりを持ちながら、一人ひとりが持つ能力を発揮できるための取組が必要です。

■多様な学びや体験・交流活動の場の創出

価値観が多様化し、また、変化が激しい時代の中、興味や関心、社会動向等に応じた学びの場の充実を図るとともに、コロナ禍で滞っていた体験・交流の場の充実が必要です。

■誰もが活躍でき、安心して暮らせる地域社会づくり

性別や年齢、障がいの有無等に関わらず、誰もが活躍し、社会とつながりを持ちながら安全・安心が守られ、多様性が尊重される地域づくりが必要です。

■山間地区の振興・コミュニティの維持

人口減少が急速に進む山間地区の振興を図りつつ、コミュニティを維持していくための取組みが必要です。

■自然景観・農村風景の保全と活用

村の強みであり、村民の自慢である美しい自然を活かした景観や農村風景を守り、活用するむらづくりの推進が重要です。

■持続可能な行財政運営の推進

税収増や有利な補助事業等の活用による堅実な財政運営を図るとともに、多様な連携や人材の育成・活用、先端技術の活用による改革・改善が必要です。

豊丘村が目指す姿の実現



第2部 基本構想

1 むらづくりの基本姿勢

特性を活かす

豊かな自然や美しい風景、地域産業など、本村の強みや資源を活かすとともに、リニア開業を見据えて新たな魅力を創出するなど、特色あるむらづくりを進めます。

変化を捉える

変化が激しく、先の見通しが困難な時代にあって、ぶれない軸をもちつつ、社会環境や住民ニーズの変化を的確に捉えながら、柔軟に対応するむらづくりを進めます。

未来へつなぐ

地域の持続的な発展に向けて、次代を担う子どもを育むとともに、自然環境や伝統文化、コミュニティなどの地域資源を守り、未来につないでいくむらづくりを進めます。

2 むらの将来像

本村の目指す将来像を、次のとおり定めます。

もっと ずっと ともに とよおか

“もっと”

リニア中央新幹線開業により豊丘村と東京圏・名古屋圏との時間距離が劇的に短縮されます。このことで高まるポテンシャルを最大限に活かし、あらゆる分野で積極的なむらづくりを進めていくことを表現しています。

“ずっと”

豊丘村の魅力である自然と農地の織り成す美しい河岸段丘の原風景、村民の村に対する強い愛着や地域コミュニティ等、守るべきものは守りながらも、社会環境の変化にも柔軟に対応して、産業、環境、行財政等あらゆる分野において持続可能で次代につながるむらづくりを進めていくことを表現しています。

“ともに”

村民誰もが、共に学び、取り組み、思いやり、支え合い、また多様な価値観が尊重され、安全・安心に暮らせるむらづくりを目指すことを表現しています。

また、多様な主体がそれぞれの強みを生かし、積極的にむらづくりに参画することで新しいものを作り出す「共創」、自然と「共生」するむらづくりを目指すことを表しています。

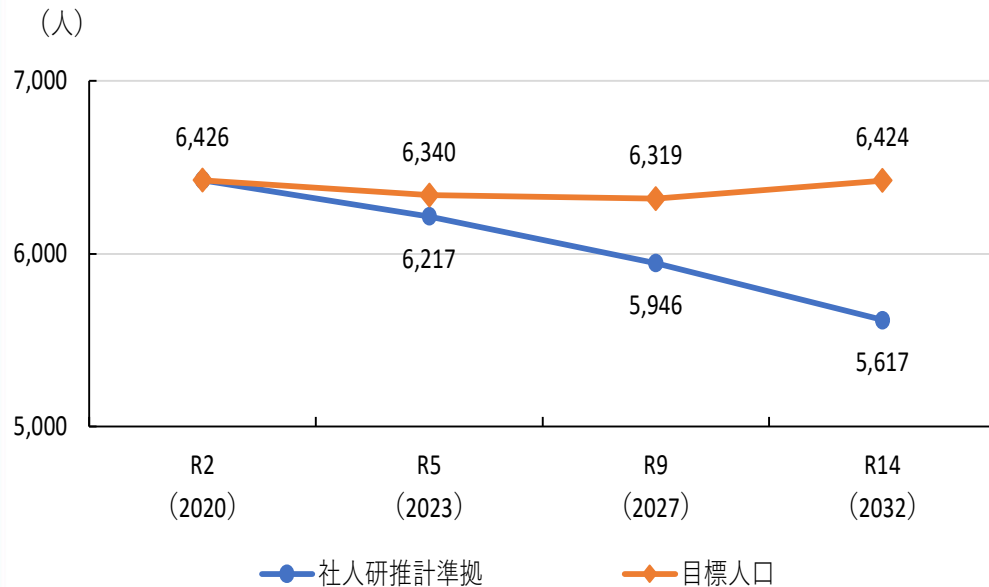
■目標人口

令和2年国勢調査の結果をもとに、コーホート要因法により計画期間の人口推計を行った結果は以下のとおりです。

計画に掲げた人口減少・少子化対策をはじめ各種施策を推進することにより人口減少を抑制し、計画期間の目標人口を以下のとおりとします。

最終年度(令和14年度) **6,500人**

【目標人口】



【目標人口算出の考え方】

	合計特殊出生率	生残率	純移動率・転入超過
社人研*1 推計準拠 (自然体)	直近の実績値 (1.57)が今後も 続くものと仮定	社人研H30 推計の生残率 に合わせた設定	社人研H30推計の移動率に合わせた設定
目標人口	2040年までに 人口置換水準 (2.07)まで上昇		上記に加え、移住・定住施策により以下のさらなる転入超過を想定 <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後地元に残る:年5人 ・U・I・Jターン:年10人 ・若者夫婦(子なし):年5組(10人) (子1人):年5組(15人) (子2人):年5組(20人) ・リタイア後の夫婦:年5組(10人)

1. 社人研：『国立社会保障・人口問題研究所』の略。国の各種施策立案の基礎資料として、人口、世帯に関する将来推計を実施している。

3 施策の大綱

(1) 基本方向

「賑わい・活力」

将来にわたって持続可能なむらづくりを推進するためにも、豊丘らしさを活かしつつ、より多くの人々が暮らし、訪れ、関わる、賑わいと活力あふれるむらを目指します。



【基本目標】

- 1 豊丘らしさを生かした産業振興
- 2 若者の移住・定住促進
- 3 交流人口・関係人口の拡大

「人・つながり」

現在そして未来のむらづくりを担う人材を地域全体で育むとともに、様々な個性や多様な価値観を持つもの同士が交流し、お互いを認め合い、支え合うむらを目指します。



【基本目標】

- 4 未来を担う子ども・若者の育成
- 5 生涯を通じた学びと文化の創造・継承
- 6 誰もがいきいきと安心して暮らせる地域づくり

「安全・快適・環境」

誰もが安全に安心して暮らせるよう、全ての村民の生命と財産、権利や尊厳が守られるむら、そして豊かな自然と美しい景観を守りつつ、利便性の高い魅力的なむらを目指します。



【基本目標】

- 7 安全・安心を守る基盤整備と体制強化
- 8 快適かつ自然と共生した生活環境の整備

「村民参加・行財政」

中長期的な視野に立って将来を展望し、限られた地域資源を有効活用し、新たな技術や手法等を取り入れながら、多様な主体がむらづくりに参画し、連携・協働するむらを目指します。



【基本目標】

- 9 コミュニティの強化と協働・連携の推進
- 10 戦略的なむらづくりの推進

(2) 基本目標

1 豊丘らしさを生かした産業振興

リニア中央新幹線の開業を見据えた土地利用や基盤の整備、企業誘致に力を入れつつ、それらを強みとした新たな産業の創出を図ります。また、農産物の高付加価値化や商工業の活性化など、すでにある地域の魅力を生かした産業振興を推進するとともに、地域産業の安定的かつ持続的な経営基盤の強化を図ります。

[基本施策]

- 1-1 リニア開業を見据えた産業振興
- 1-2 賑わいの拠点づくり
- 1-3 農業振興の推進
- 1-4 商工業の活性化
- 1-5 森林資源の活用



道の駅 農産物直売所

2 若者の移住・定住促進

魅力ある居住環境や就労環境、活躍の場の創出、希望する結婚・出産を叶えるための支援の充実や地域ぐるみで子育て家庭を支える地域づくり等を推進することで、多くの若者の移住を促進します。また、村で育つ子どもたちの村に対する愛着を醸成し、村に定住し、あるいは一度離れても再び村に戻ってきてくれるようなむらづくりを推進します。

[基本施策]

- 2-1 移住相談・情報発信の充実
- 2-2 魅力的な居住・生活環境の整備
- 2-3 就労環境の充実
- 2-4 結婚・出産・子育て支援の充実
- 2-5 郷土に対する誇り・愛着の醸成



子育て世代向け戸建て賃貸住宅(中芝)

3 交流人口・関係人口の拡大

着地型観光や二地域居住の推進、効果的なプロモーション等を通じて、何度でも訪れたい魅力あふれるむらづくりを進めるとともに、より多くの人たちが豊丘村に関心を持ち、継続的に関わり、応援してくれる「とよおかファン」になってもらえるような関係づくりを推進します。

[基本施策]

- 3-1 観光資源・コンテンツの充実
- 3-2 効果的なプロモーションの充実
- 3-3 多様なつながりの創出



とよおか旅時間 サイクルツーリズム

4 未来を担う子ども・若者の育成

次代を担う子どもたち一人ひとりがその個性や能力を最大限伸ばし、未来に希望を持ちながら健やかに成長できる教育を推進します。また、若者の夢の実現を応援するとともに、様々な場で能力を発揮し、活躍できる地域づくりを推進します。

[基本施策]

- 4-1 学校教育の充実
- 4-2 多様な体験・交流活動の充実と居場所づくり
- 4-3 子どもの権利擁護・子育て支援の充実



ICTを活用した学習(中学校)

5 生涯を通じた学びと文化の創造・継承

一人ひとりの興味関心や社会情勢の変化に応じ、生涯を通じて学習やスポーツ、文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。また、先人から伝わる伝統文化や貴重な文化財を守り継ぐとともに、その価値を広く周知し、誇りの醸成とむらづくりへの活用を推進します。

[基本施策]

5-1 生涯学習・スポーツの機会の充実

5-2 生涯学習・スポーツ拠点の活用

5-3 指導者の確保・育成

5-4 文化財の保護・伝統文化の継承と活用



河野大宮神社 獅子舞とおかめ

6 誰もがいきいきと安心して暮らせる地域づくり

村民の主体的な健康づくりを促すとともに、安心して医療にかかることができる体制の強化を図ります。また、誰もが地域の中で自分らしく安心して暮らしていくことができるよう、一人ひとりの個性や価値観を尊重するとともに、お互いを気にかけて、見守り、地域全体で支え合う地域づくりを推進します。

[基本施策]

6-1 健康づくりの推進

6-4 高齢者福祉の充実

6-2 地域医療の充実

6-5 障がい者福祉の充実

6-3 地域共生社会の実現

6-6 多様性を認め合う社会の実現



地区敬老会(林原・木門地区)

7 安全・安心を守る基盤整備と体制強化

災害発生時をはじめ、様々な危機が発生した際の迅速かつ適切な判断・行動がとれる体制づくりと被害を最小限に抑えるための基盤整備を推進します。また、地域ぐるみで地域の安全・安心を守るための体制の強化を図ります。

[基本施策]

- 7-1 防災・減災対策、国土強靱化の推進
- 7-2 消防・自主消防体制の強化
- 7-3 防犯・交通安全対策の充実



橋梁の補修(虻川大橋)

8 快適かつ自然と共生した生活環境の整備

村民にとって利便性が高く、快適に暮らしていけるよう、住環境や公共交通、上下水道等の基盤整備を計画的に推進するとともに、豊丘村の豊かな自然と美しい景観を守り、その恩恵を享受しながら、共に暮らしていくことができる環境づくりを村全体で推進します。

[基本施策]

- 8-1 公共交通の充実
- 8-2 上下水道事業の安定運営
- 8-3 資源循環型社会・地球温暖化防止対策の推進
- 8-4 里山風景の保全



地区住民による小規模竹林の整備

9 コミュニティの強化と協働・連携の推進

各地区の主体的な活動を促進するため、コミュニティ組織をはじめ地域団体の活性化と活動を牽引する人材の育成を図ります。特に山間地におけるコミュニティ活動の維持に努めます。併せて、住民、地域、企業、行政等の多様な主体が連携・協力して活動するためのネットワークづくりを推進します。

〔基本施策〕

- 9-1 コミュニティの活動の活性化支援
- 9-2 連携ネットワークの構築
- 9-3 むらづくりへの住民参画の促進



さはら塾(都市農村交流事業)

10 戦略的なむらづくりの推進

中長期的な視野に立ち、将来像の実現にむけて、安定的な財源を確保しつつ、効果的かつ効率的な施策・事業を着実に推進できる体制の強化としくみの構築を図ります。また、村全体で目指す将来像や地域課題を共有しながら、村民をはじめ、多様な主体が積極的にむらづくりに参画する地域づくりを推進します。

〔基本施策〕

- 10-1 効果的・効率的な施策・事業の推進
- 10-2 安定的な財源の確保
- 10-3 職員の資質向上、体制の強化
- 10-4 広域行政の推進



中学生と村長となんでもしゃべらまい会

(3) 共通する視点

基本目標およびそれらを実現するための施策を推進するにあたり、時代潮流や環境変化に対応し、すべての施策分野に共通する視点として、以下の3つの視点を設定します。

「リニア開業」

リニア中央新幹線開業を見据え、大都市圏との時間距離が大幅に短縮されることで高まるポテンシャルを生かしたむらづくりを推進します。

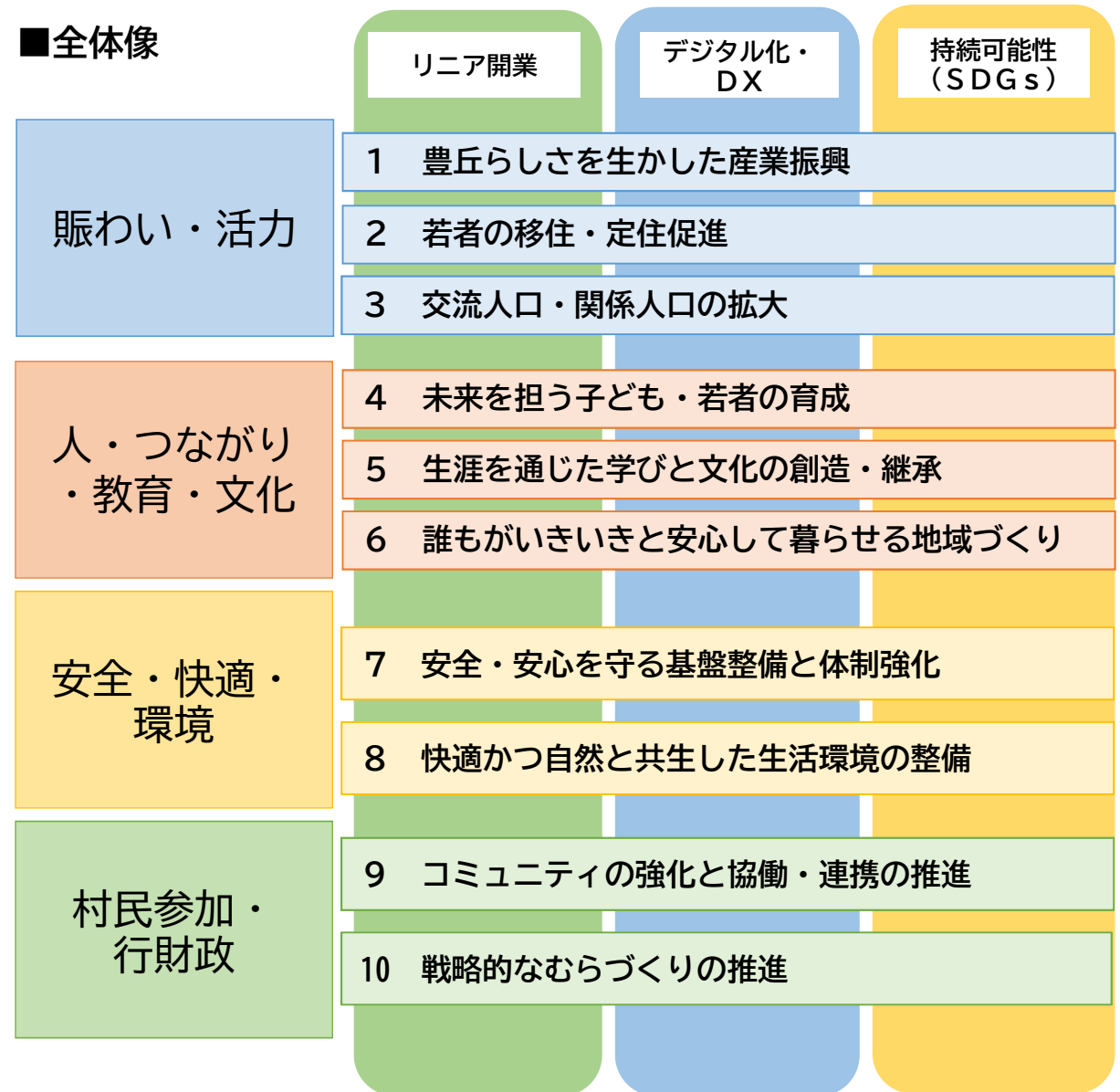
「デジタル化・DX」

デジタル先端技術を活用することで、地域産業の活性化やコミュニティの再構築、安全・安心の確保、住民サービスの向上等につなげるための取り組みを推進します。

「持続可能性（SDGs）」

将来にわたって持続可能なむらを維持していくためにも、少子化対策の強化や産業の持続的な発展、人材育成、環境保全、健全な財政運営など、あらゆる分野での取り組みを推進します。

■全体像





第3部 基本計画

1 豊丘らしさを生かした産業振興

リニア中央新幹線の開業を見据えた土地利用の調整や基盤整備、企業誘致に力を入れつつ、それらを強みとした新たな産業の創出を図ります。また、農産物の高付加価値化や商工業の活性化など、既にある地域の魅力を活かした産業振興を推進するとともに、地域産業の安定的かつ持続的な経営基盤の強化を図ります。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
遊休荒廃農地面積	ha	10.8	R4	9.7	R9	9.3	R10	
担い手への農地利用集積率	%	37.7	R4	57.3	R9	60	R12	
売上金額等	億円	255	R1	267	R6	280	R10	経済センサス
就業率	%	67.6	R2	68.3	R7	69.0	R12	国勢調査
商工会員数	者	155	R4	158	R9	161	R12	商工会資料

10年後に目指す姿

- リニア中央新幹線の開業と三遠南信自動車道の供用開始に伴い、豊丘村の産業競争力が高まっています。
- その利便性とポテンシャルに魅力を感じた多くの企業・事業所や研究開発・教育機関等が豊丘村に立地・集積しています。
- 高速交通網を利用して多くの「ひと・もの・こと」が集まり、交わり、賑わっています。
- 成長分野の企業や関係機関、行政等が連携し付加価値が生み出される「とよおかバレー」が形成されています。



5年間の主要施策

施策名	施策の概要
1-1-1 有効な土地利用・基盤整備の推進	リニア中央新幹線(仮称)長野県駅周辺への企業立地に向けた区画整理やアクセス道路の整備を促進するなど、リニア開業を見据えた土地利用・基盤整備を推進します。
1-1-2 効果的なプロモーション*1の推進	リニア開業等に伴う産業振興の可能性について、様々な機会・媒体を通じて、村内外にわかりやすく効果的に伝えるプロモーションを推進します。
1-1-3 企業・事業所、関係機関等の誘致	立地優位性を高めつつ、むらづくりの方向性に合致した企業・事業所や研究開発・教育機関等に対して本村への進出を働きかけます。
1-1-4 産学官連携の推進	本村立地企業や本村とつながりのある企業、大学や研究開発機関、県や近隣市町村等との連携ネットワークを構築し、強みを生かした産業振興や新たな価値の創出を推進します。
1-1-5 起業支援・スタートアップ企業支援の充実	リニア開業等を契機に本村で起業しようとする人や本村に進出しようとするスタートアップ企業等に対し、相談受付や情報提供、資金融資など支援の充実に図ります。

個別計画

計画名	計画期間
国土利用計画(豊丘村計画)	H25~R5
創業支援事業計画	H28~R7

1. プロモーション：内容を広く認知させ、ブランドイメージの構築などにつなげる取組みのこと

10年後に目指す姿

- 地域ブランドが確立され、交流人口が増加しています。
- 「小さな拠点」機能が充実し、村民が安心して暮らす環境が整備されています。
- 観光地域づくり事業(※)が推進され、農業振興などの地域課題の解決が進んでいます。
※観光が地域の課題解決に貢献する取組み



道の駅 南信州とよおかマルシェ

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
1-2-1 道の駅の更なる活用	道の駅「南信州とよおかマルシェ」を拠点として本村の農林産物の販路拡大とブランド化を推進するとともに、地域資源を活用した観光事業による交流人口の増加を図るなど、賑わい創出に向けた取組みを推進します。
1-2-2 「小さな拠点」整備	道の駅「南信州とよおかマルシェ」を核とした「小さな拠点」に、村民の生活利便性を高める施設等を確保するとともに、集落等を結ぶ交通ネットワークの確保を図ります。また、観光拠点施設「とよおか旅時間」による観光地域づくり事業により、地域振興を図ります。
1-2-3 イベント開催の充実	村民の交流と本村のPRのため、各種イベントの開催を支援するとともに、イベント運営への村民の参画を促します。

個別計画

計画名	計画期間
第2期豊丘村総合戦略	R2~R6

10年後に目指す姿

- 地域の特性を活用した、収益性の高い、安定的な農業経営が確立されています。
- 多様な主体が農業の担い手として確保され、将来にわたって農業が持続的に営まれています。
- 自然環境に調和した、安全で安心かつ高品質な農畜産物が安定的に生産・供給されています。
- 農業及び農山村の有する多面的機能が村民共有の財産であることが認識され、その機能が適切かつ十分に発揮されています。
- 地域で生産される農畜産物が域内で流通・消費されています。
- 農業及び農山村の役割や食の重要性に対する理解と関心が深まるとともに、地域特有の食文化が継承されています。



豊丘村特産のりんご

5年間の主要施策

施策名	施策の概要	施策名	施策の概要
1-3-1 6次産業化の推進	農業、商業、工業、観光業等との連携の強化により、農業を核とした新たな地域産業の創出を図ります。	1-3-7 農山村のもつ多面的機能の維持保全	農山村における自然環境、美しい景観、文化、コミュニティ等を維持保全し、その多面的機能の発揮を図ります。
1-3-2 高付加価値化の推進	需要の動向に応じた農産物の生産、地域の特性を生かした農畜産物及び加工品の高付加価値化により、収益性の高い農業経営の確立と競争力のある産地の育成を図ります。	1-3-8 有害鳥獣対策	有害鳥獣の積極的な駆除及び農林産物に係る被害の防止を図ります。
1-3-3 生産基盤の整備	農業の生産基盤である農道及び農業用水路等の整備並びに農地、農業用水その他の農業資源の確保を図ります。	1-3-9 安心安全な農林産物の生産及び供給と産地消の推進	安心・安全な品質の農林産物を安定的に生産及び供給する体制を構築するとともに、村内における食料自給及び地場農林産物の消費の向上を図ります。
1-3-4 スマート農業の推進	広域的なドローンによる農薬散布やロボット草刈機の導入等、AIやIoTを活用したスマート農業を推進し、農作業を効率的・効果的に行うことにより、作業の負担の軽減を図ります。	1-3-10 食育の推進	学校、家庭及び地域社会等と連携した農と食に対する教育等による健全な食生活への理解の促進とともに、地域で生産される農産物を使った地域特有の食文化の継承を図ります。
1-3-5 多様な担い手の確保	農業の担い手に対する適切な情報提供、指導、支援等により、将来にわたる地域農業の多様な担い手を育成、確保する体制を構築します。また、地域農業の受け皿として、法人化や集落営農の組織化を推進します。	1-3-11 環境保全型農業の推進	農業及び肥料の適正な使用や有機物資源の有効利用による土づくり等に基づく、有機農業をはじめとする環境保全型農業の推進を図ります。
1-3-6 遊休農地対策の推進	有害鳥獣のすみかとなりうる耕作放棄地発生を防ぐために、農地所有者に農地の適切な管理をお願いするとともに、地域計画の策定を通じて農地利用の将来像を明確にし、農地の流動化、担い手への利用集積等計画的な土地利用を促し、遊休農地の解消、農地の有効利用を推進します。		

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村鳥獣被害防止計画	R5～R7
地域計画	R7～

10年後に目指す姿

- 中小企業の経営基盤の強化や事業継続などに向けた支援により、経営の安定化が図られています。
- 商工会などが行う取組みに対する必要な支援などにより、村内商工業の振興・発展が図られています。



伴野工業団地

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
1-4-1 経営安定化・事業承継支援の推進	企業経営の安定化、事業継続などが図られるよう商工会など関係機関との連携により、企業への支援事業を推進します。また、企業の設備投資や事業の拡大などに向けて、制度融資や利子補給などの経済的支援を行います。
1-4-2 商工会支援の推進	商工会の活動に必要な支援を行うとともに、関係機関との連携を強化し、地域経済の活性化に向けた取組みを推進します。
1-4-3 地域内経済循環の推進	地域資源を活用した産業が地域の雇用と経済を生み出していることから、地産地消や企業間連携を推進するとともに、地域産業に対する村民の理解を深め、地域内の経済循環を図ります。
1-4-4 買い物弱者対策	買い物の利便を図る村内商業者の独自活動を支援するとともに、ICTを活用した買い物支援事業を検討します。

個別計画

計画名	計画期間
第2期豊丘村総合戦略	R2~R6

10年後に目指す姿

- 森林の有する多面的機能が村民共有の財産であることが認識され、その機能が適切かつ十分に発揮されています。
- 森林資源の循環と保全が両立した、強い林業が確立されています。
- 松くい虫被害対策と茸山整備により健全な赤松林が保全・育成され、特産品の松茸が産出されています。
- 造林作業の自動化機械やスマート林業の導入により、林業施業の効率化と高度な木材生産が可能となり、林業の担い手の確保と森林の適切な整備がされています。



特産の松茸を産出する赤松林

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
1-5-1 森林のもつ多面的機能の維持保全	森林の持つ多面的機能が村民共有の財産であることの認識を醸成するとともに、その機能が適切かつ十分に発揮されるよう森林整備を推進します。
1-5-2 森林整備の促進	森林整備及び木材生産活動を支援するとともに、森林経営管理制度の運用により、森林の多面的機能の発揮や森林資源の充実を図るため、村が主体的に森林整備を進めます。また、県と連携し治山事業を推進します。
1-5-3 林業イノベーションの推進	自動化等の機能を持った高性能林業機械等の導入や、森林施業の効率化・高度な木材生産を可能とするスマート林業の導入に対し支援します。
1-5-4 松くい虫被害対策の推進	環境に配慮する中で、松くい虫被害木の伐倒燻蒸などの対策を実施し、村木「赤松」の健全な育成を図ります。
1-5-5 特用林産物の生産の推進	特用林産物(松茸ほか茸類)・山取花木等の生産を推進するとともに、茸山の整備を支援し、健全な里山づくりを推進します。

個別計画

計画名	計画期間
第2期豊丘村総合戦略	R2~R6

2 若者の移住・定住

魅力ある居住環境や就労環境、活躍の場の創出、希望する結婚・出産を叶えるための支援の充実や地域ぐるみで子育て家庭を支える地域づくり等を推進することで、多くの若者の移住・定住を促進します。また、村で育つ子どもたちの村に対する愛着を醸成し、村に定住し、あるいは一度離れても再び村に戻ってきてくれるようなむらづくりを推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
人口(国勢調査)	人	6,426	R2	6,450	R9	6,500	R14	国勢調査
社会動態での増加数 (1月～12月)	人/年	9	R3	12	R9	15	R14	住民基本台帳
合計特殊出生率	—	1.47	R3	1.60	R9	1.80	R14	
18歳～49歳の人口	人	2,103	R3 年度末	2,120	R8 年度末	2,140	R13 年度末	住民基本台帳

基本施策 2-1

移住相談・情報発信の充実

賑わい・活力

10年後に目指す姿

- シティプロモーションを積極的に推進し、移住・定住促進による人口の増加・定着化が進んでいます。
- リニア開業、また移住に関する情報発信や相談体制等の受入体制の充実により、移住者が増加しています。



大都市圏での移住セミナー

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
2-1-1 シティプロモーションの推進	子育て世代をメインターゲットとし、インターネットなどを通じて広く村内外にむらの魅力を発信し、移住・定住を促進します。
2-1-2 情報発信の充実	住まいや仕事、支援制度の情報を集約し、総合的に情報提供するとともに、SNSやパンフレット等を活用し、移住希望者に向けた情報発信に取り組みます。
2-1-3 相談体制の充実	関係課が連携し、移住者及び移住希望者への就労や生活相談がワンストップで支援できる体制を構築します。また、都市部で開催される移住・交流フェア等において、移住希望者に向けた相談会を定期的に行います。
2-1-4 移住者への支援の充実	空き家の賃貸や売買のマッチングを進めるとともに、空き家改修を支援し、移住希望者の負担軽減を図ります。また、移住者への支援の充実とともに、移住者に自治会等コミュニティ組織への加入を促し、地域に溶け込める環境づくりを推進します。
2-1-5 おためし移住の推進	ワーキングホリデー事業やお試し住宅を活用し、豊丘村の良さを体感できる体制の充実を図り、移住・定住を促進します。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

10年後に目指す姿

- 豊丘村への定住希望者の多様なニーズに対応できる賃貸住宅、空き家、宅地が供給されています。
- 住宅地と工業用地、商業用地が混在することを防ぎ、快適で住みよい住宅環境を保ちます。
- リニア中央新幹線の開業により東京、名古屋等大都市への通勤者が住みたいと思える住宅、宅地が整備されています。
- 村内外出身の若者が定住し、活力あるむらづくりが行われています。
- 多様な人々から高い満足度を得て、誰もが何度でも訪れたい公園が整備・維持されています。



子育て世代向け戸建て賃貸住宅(中部三)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
2-2-1 土地利用計画による宅地のゾーニング	土地利用計画の見直しにより、住宅地、商業地域、工業地区、農業用地のゾーニングを行います。開発が進む下段地区については規制が可能な都市計画区域の導入を検討します。
2-2-2 宅地造成の推進	定住希望者の多様なニーズに対応するため、多様なニーズに対応できる宅地の造成を、地域や民間企業と連携して進めます。
2-2-3 宅地取得・住宅新築への助成制度の継続	若者の経済的支援及び定住を促進するため、住宅用地取得、住宅新築等に係る助成制度を継続します。
2-2-4 子育て世代向け集合住宅の建築	民間企業と連携し、若者が結婚した後、子どもが就学するまでの間の居住に適したマンション形式の集合住宅を供給します。
2-2-5 空き家の有効活用	人口減少に伴い増加傾向にある空き家の有効活用を図ります。
2-2-6 公園・緑地の整備、適正管理	公園施設の計画的な点検や修繕等を実施するとともに、遊具等の利用者の安全確保を最優先に考え、施設の長寿命化を図ります。

個別計画

計画名	計画期間
国土利用計画(豊丘村計画)	H25~R5

10年後に目指す姿

- 本村の優位性を活かした企業誘致を推進し、村内への企業の進出を促進するとともに、企業や関係機関との連携により創業・起業を支援します。
- 若い世代が就職により転出することは、将来の人口減少を加速させることにつながるため魅力的な就業先の確保を図ります。
- 関係機関との連携の充実により、働きたい人の就業機会の拡大を図ります。



中学校キャリア学習(仕事未来フェア)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
2-3-1 働きやすい環境づくりの推進	若者、女性、高齢者、障がいのある人など、誰もがそれぞれの意欲や能力を生かしライフスタイルに合わせて働くことができるように、ワークライフバランスや働き方改革について、村民及び企業に意識啓発を図ります。また、若い世代に向けて、村内企業PRとともに、地域への愛着を持ち、「村で生活し、地元で働く」という生活スタイルの提案などを学校、企業、関係機関と連携して進めます。
2-3-2 企業・事業所の誘致	固定資産税の優遇措置や地理的安全性など優位性を積極的にPRするほか、新たな優遇制度の導入など効果的な手法により企業誘致に取り組みます。また、新たなワークスタイルに対応したサテライトオフィスなどの誘致やテレワーク、コワーキングスペースなどを整備します。
2-3-3 創業・起業の支援	商工会など関係機関と連携し、創業・起業希望者に対して相談事業を行い、村内への創業・起業を促進するとともに、創業・起業した際の各種優遇措置などの支援を行います。
2-3-4 事業所等の情報発信・マッチング支援	ハローワークや商工会などと連携し、就業に関する相談・情報提供の充実を図るとともに、就労希望者へ職業訓練等の支援を行います。

個別計画

計画名	計画期間
創業支援事業計画	H28~R7

10年後に目指す姿

○若者の郷土愛が生まれ、「豊丘村に住みたい」「豊丘村に住み続けたい」と思う若者が増えています。

○妊娠・出産・育児に至るまでの間、切れ目なく必要な母子保健サービスが提供され、妊産婦やその家族が安心して子どもを産み育てることができています。



北部地区結婚相談所 愛ねっと北部

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
2-4-1 出会いの創出	結婚を望む独身男女に対して、豊丘村結婚相談委員会による豊丘村に根差した相談会の開催に加え、愛ねっと北部と連携し、より広い地域や職域から出会いの場を提供し、縁結びの支援を行っていきます。
2-4-2 妊娠・出産支援の充実と切れ目のない支援	母子保健分野から成人に達するまで、年齢による切れ目のない家庭状況の把握と支援が行えるよう、関係機関との連携をとっていきます。
2-4-3 子育て支援の充実	仕事、子育て、住まい、教育等を多面的にサポートできる体制を整え、子育て世代のニーズに対応します。

個別計画

計画名	計画期間
第二期子ども子育て支援計画	R2～R6

10年後に目指す姿

- 文化財を地域の宝として保護し、また松尾多勢子に代表される村の歴史的遺産に関する資料の収集・保存と活用を図ることで、郷土への愛着心を高めています。
- 文化財の保護と活用のため、歴史民俗資料館の有効活用を図ると共に、文化財に関する情報・研修結果などの資料を、積極的に提供しています。
- 伝統文化の保存・継承のために、担い手の育成や保存団体の活動を支援しています。
- 村民一人ひとりが生涯にわたり、生き生きと豊かでうるおいのある生活を送り、自発的に学習に取り組んでいます。



歴史民俗資料館 展示

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
2-5-1 郷土について学ぶ機会の充実	指定文化財等を地域の宝として保護するとともに歴史資料の収集と活用を図るため、歴史民俗資料館の有効利用を図ります。 石造文化財をはじめ村内の様々な文化財等について学習することにより、郷土に愛着を持つ心を培います。また、文化財に関する情報・研究成果などの資料を積極的に提供します。学校では総合学習で、テーマ(観光名称・産業・地域の宝等)を決めて、地域を巡り郷土について学びます。
2-5-2 多様な体験・交流活動の推進	豊かな情操を養い創造力を高めるため、公民館・資料館を中心に音楽・絵画などの芸術文化に接する機会の充実を図ります。
2-5-3 地元産業、伝統文化等の情報発信の充実	各地区を中心に行われる伝統芸能や文化的行事の担い手の育成や保存団体などの活動に対し支援します。
2-5-4 生涯学習における郷土学習の推進	地域の歴史や伝統文化について学ぶ機会を充実させ、住民が地域に関する理解を深め、愛着を持てるよう取り組みます。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村教育大綱	R5~R9

3 交流人口・関係人口の拡大

着地型観光や二地域居住の推進、効果的なプロモーション等を通じて、何度でも訪れたい魅力あふれるむらづくりを進めるとともに、より多くの人たちが豊丘村に関心を持ち、継続的に関わり、応援してくれる「とよおかファン」になってもらえるような関係づくりを推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
道の駅来場者数	万人	94.8	R4	100.0	R9	105.0	R14	(株)豊かな丘事業報告書
とよおか旅時間観光コンテンツ利用者数	千人	—	—	3	R9	5	R14	豊丘村観光協会報告書

10年後に目指す姿

- 村に元々ある農業や自然・文化・人・暮らしといった魅力が観光資源として商品化され、豊丘村を目的地とする観光客が集まっています。
- 村に長期滞在する観光客が増え、観光客と地元住民との間に交流が始まっています。
- 豊丘村を旅先として年に何度も訪れる観光客が増え、地元住民と顔見知りになっています。
- 観光事業に携わる事業者や個人、観光客のおかげで自然環境や文化の保護、農業の活性化、住民の活力につながっています。



河岸段丘中段の景観

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
3-1-1 観光資源の整備・活用	人・食・歴史・文化・産業などの地域資源を最大限に活用し、その魅力を「価値」として提供し、利益を村民に循環させる取組みを進めます。
3-1-2 周遊滞在型観光コンテンツの創出	人・食・歴史・文化・産業など多様な地域資源を、自転車等を活用して「線」で結ぶ、周遊滞在型観光コンテンツの造成に取り組みます。
3-1-3 二次交通の整備・充実	リニア中央新幹線長野県駅等の交通拠点からの交通手段について、近隣自治体や事業者等と連携し、整備を図ります。
3-1-4 観光DXの推進	デジタル技術の活用による、旅行者の利便性向上や周遊の促進を図るとともに、観光地経営の高度化を図ります。

個別計画

計画名	計画期間
第2期豊丘村総合戦略	R2～R6

10年後に目指す姿

- 村の観光ブランディングが明確になっており、豊丘村に旅をすることが観光客にとって「かっこいい」「意識が高い」「ハイクラス」「ステータス」というイメージになっています。
- 一味違ったハイクラスな旅人(旅の玄人)が豊丘村に集い、それによってさらに村の価値が上がってきています。
- 村が目指すサステナブルツーリズム(持続可能な観光による地域経済の発展)がスタンダードになり、その先進地になっています。
- 「時間」や「場所」に価値を求める旅人が豊丘村の魅力をそのコミュニティで共有し、旅行上級者の隠れ家的存在となっています。



サイクルツーリズム

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
3-2-1 観光ブランディングの構築	「観光地経営」の視点に立ち、人・食・歴史・文化・産業など多様な地域資源を活用した、サステナブルツーリズムを推進するため、豊丘村観光協会によるマネジメントとマーケティングの機能を備えた体制を構築します。
3-2-2 SNS・HP等の有効活用	豊丘村観光協会と連携し、SNSやホームページ等の多様なメディアを活用し、ターゲットに向けリアルタイムで情報発信に取り組みます。また、観光案内所の機能強化を図ります。
3-2-3 インバウンド向けコンテンツの充実	外国人観光客の誘客につながる情報発信を関係自治体及び団体等と連携し実施するとともに、サステナブルツーリズムの視点に立った、嗜好性・ニーズを踏まえたコンテンツの創造を図ります。

個別計画

計画名	計画期間
第2期豊丘村総合戦略	R2~R6

10年後に目指す姿

- ふるさと納税の寄附者が豊丘村を旅行滞在やバカンス先として選び、第二の故郷のように豊丘村を訪れています。
- リモートによる働き方が一般化し、村の空き家がサテライトオフィスとして活用されています。
- 観光で豊丘村を知った旅行者が村を気に入り、移住する人が増えています。
- リニア中央新幹線が開業したことで二地域居住がスタンダードになり、その居住先に豊丘村が選ばれています。



観光客と村民の触れ合い

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
3-3-1 SNSを活用したつながりの創出	村政等の情報発信について、SNSを活用し、村と村民との情報共有及びコミュニケーションの円滑化を推進するとともに、デジタルプロモーションによる定住人口、交流人口、関係人口の増加を図ります。
3-3-2 二地域居住の推進	事業者と連携した空き家の流動化や地域情報の発信、住宅管理サービス、税制優遇のしくみの構築など、二地域居住の受入態勢づくりを推進します。
3-3-3 オーナー制度・共同事業の推進	農業をはじめとした地域資源を活用し、都市農村交流事業を推進します。
3-3-4 地域間交流と国際交流の推進	村民が、国内外を問わず世界の人びとや文化に触れ、交流できる取組みを推進し、国際感覚と広い視野を持つ多彩な人材の育成を推進します。
3-3-5 ふるさと納税制度の活用	豊丘村ならではの返礼品を充実させ、ふるさと納税をきっかけとした豊丘村の全国的にも高い認知度を活用しながら、情報発信の強化、販路の拡大を図ります。

個別計画

計画名	計画期間
第2期豊丘村総合戦略	R2~R6

4 未来を担う子ども・若者の育成

次代を担う子どもたち一人ひとりがその個性や能力を最大限伸ばし、未来に希望を持ちながら健やかに成長できる教育を推進します。また、若者の夢の実現を応援するとともに、様々な場で能力を発揮し、活躍できる地域づくりを推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
保育園園児数	人	245	R4	260	R9	280	R14	保育園園児数
一時預かり保育受入人数 (延人数)	人	260	R4	300	R9	350	R14	一時預かり保育受入人数 (延人数)
子育て支援センター利用者数 (延人数)	親子 (人)	4,110	R4	4,300	R9	4,500	R14	子育て支援センター利用者 (延人数)
地区育成会活動状況	自治会	28	R4	28	R9	28	R14	地区育成会活動状況

10年後に目指す姿

- 保育園での「遊びを通じた学び」から、小学校での「教科的学び」への円滑な接続のために、保育園・学校・保護者が相互に理解を深め、「生きる力」を育む連続的な育ちを目指しています。
- 自ら問いを見だし、その解決を目指して、仲間と関わりながら追求したり、教科学習で「主体的・対話的で深い学び」をさらに推進することを通して、社会的に自立した人間の育成を目指しています。その中で、わかる授業を創造し、楽しい学校づくりに努めています。
- 一人ひとりの学習進度や能力・関心等に応じ、学びをより深めていく授業改善の視点とICT活用を具体的に関連付けた授業づくりに努めています。
- 特別支援学校在籍生徒の村内学校副学籍制度を活かして、インクルーシブ教育の理念を共有しながら特別支援教育に関する地域力を高めています。



タブレットを活用したICT教育(中学校)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
4-1-1 地域に根ざした教育の推進	村をとりまく社会・自然条件や歴史的資源、将来構想等の地域教材を積極的に活用して、郷土に愛着と誇りを持ち、地域の次代を担う子どもたちを育てます。
4-1-2 時代に対応した教育の推進	子どもたちが、社会人として自立していく基礎となる力を育てるためのキャリア教育を進めます。また、情報処理能力の習得、国際理解教育、環境教育など、時代の変化に適切に対応した教育を推進します。
4-1-3 教育施設・設備の充実	快適で安全な学習環境を提供するため、学校施設等長寿命化計画を基本に、計画的な整備・改修を行います。
4-1-4 健やかな心身を育む教育の推進	情報モラルやメディアとの向き合い方を学ぶ活動、誕生日図書等の読書活動、さらに自然体験活動、スポーツ活動や心のケアを充実させ、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します。
4-1-5 保育園・学校・家庭・地域が連携した教育の推進	保育園・学校・家庭・地域が、PTA・地区育成会活動等を通して連携し、学校評価などを活用しながら信頼される学校づくりを進めていきます。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村教育大綱	R5～R9
豊丘村学校施設等長寿命化計画	R3～R8

10年後に目指す姿

- 少子化の進展、家庭や地域社会の教育力の低下などの様々な問題が指摘される中、特に、子どもたちの精神的な自立の遅れや社会性の不足が顕著になっています。
- 次代を担う子どもたちが、規範意識や社会性、他人を思いやる心などを身に付け、豊かな人間性を育むよう、発達段階などに応じた様々な奉仕活動・体験活動の機会を充実させることが求められています。
- 全ての子どもが、安心安全に活動できる場所が整備され、多様な交流や経験の機会があります。
- 村の良さや人々の温かさを感じながら自主的に地域活動に参加して、村の次代を担う意識や郷土愛を育てています。



地域の獅子舞と交流(北保育園)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
4-2-1 地区育成会の活動支援	地区育成会において、様々な体験等ができるように支援し、活動の活性化を促進します。
4-2-2 多世代交流活動の推進	子どもは「地域で学び地域で育つ」という点を踏まえ、子どもたちと異世代、異年齢間の方との交流とその充実に努めます。
4-2-3 団体・企業等と連携した体験活動の推進	児童・生徒が社会の一員として自立し、積極的に関わろうとする態度を身につけていくことができるよう団体・企業等と連携し社会参加に関する体験を推進していきます。また、児童・生徒がそれぞれの特技を生かせる機会の提供など、活動を通じて子どもたちの自主性・主体性の育成を図ります。
4-2-4 子ども・若者の居場所づくり	学校や家庭以外の場所でも、適切な遊び場や生活の場等子どもたちの居場所を確保し、多様な交流経験を通じて心身共に健やかに成長するための支援を行います。
4-2-5 子ども・若者のむらづくりへの参画推進	地域の方々との交流体験や自然体験活動等を行い、郷土愛を育て、地域活動に自主的に参加できるよう支援をします。

個別計画

計画名	計画期間
第2期子ども・子育て支援事業計画	R2～R6
豊丘村教育大綱	R5～R9

基本施策 4-3

子どもの権利擁護・子育て支援の充実

人・つながり・教育・文化

10年後に目指す姿

○多様な価値を認めながら、自ら考える力を養い、自分の夢をかなえることのできる豊かで健康な心身を持った子どもたちが育っています。

○親が子育てに自信を持ち、地域もみんな子育て家庭を見守り、支えて、地域に子どもたちの元気な声と笑顔が広がっています。



保育園 豊丘体験隊(たけのこ狩り)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
4-3-1 子どもの権利に対する理解促進	自分の大切さとともに、他者の大切さにも気づき、お互いの人権を尊重できるような関わりや環境を整えます。
4-3-2 要保護・要支援児童対策の強化	児童虐待や子育ての不安を予防し、早期発見、早期対応に努めます。また、経済的に厳しい家庭への経済的支援、発達に偏りのある子どもへの発達支援など、援助を必要とする子どもと家庭に対するきめ細かな取組みを推進します。
4-3-3 意見表明できる場の確保	人の話をよく聞き、様々な考え方があることに気づいたり、周りの人との対話を通して楽しさを味わったりしながら、豊かな言葉や表現を身につけ、自分の思いを伝えられる場を確保します。
4-3-4 妊娠・出産支援の充実と切れ目のない支援	母子保健分野から青少年健全育成まで、年齢による切れ目のない家庭状況の把握と支援が行えるよう関係機関との連携をとっていきます。
4-3-5 多様な保育サービスの充実	未満児保育・長時間保育・一時預かり保育等、多様化する保育ニーズに対応した保育の充実や、保育施設整備を推進します。
4-3-6 地域ぐるみの子育て支援の充実	子育て支援センターを拠点として、育児不安や子育ての悩みを解消し、子どもを安心して生み育てられるよう、子育て相談や交流、情報提供を行い、地域の子を地域で育む交流の場としての支援体制を充実します。
4-3-7 経済的支援の充実	全ての子どもが、等しく健康で文化的な保育・教育を受けられるよう家庭状況を把握し、支援につなげます。

個別計画

計画名	計画期間
第2期子ども・子育て支援事業計画	R2～R6
豊丘村教育大綱	R5～R9

5 生涯を通じた学びと文化の創造と継承

一人ひとりの興味関心や社会情勢の変化に応じ、生涯を通じて学習やスポーツ、文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。また、先人から伝わる伝統文化や貴重な文化財を守り継ぐとともに、その価値を広く周知し、誇りの醸成とむらづくりへの活用を推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
公民館登録グループ団体数	団体	81	R1	83	R9	85	R14	公民館登録グループ団体数
ゆめあるて利用者数	人	24,887	R1	24,500	R9	25,000	R14	ゆめあるて利用者数
図書館利用者数	人	17,083	R1	17,500	R9	18,000	R14	図書館利用者数
歴史民俗資料館利用者数	人	857	R1	870	R9	900	R14	歴史民俗資料館利用者数
体育施設利用者数	人	43,765	R1	44,000	R9	45,000	R14	体育施設利用者数

10年後に目指す姿

- 村民一人ひとりが生涯にわたり、生き生きと豊かでうるおいのある生活を送り、自発的に学習に取り組んでいます。
- 自分の体力や適性に応じたスポーツを選択し、快適な生活と健康増進のため積極的にスポーツに取り組んでいます。
- 地域社会の一員として社会教育活動や各種スポーツ大会に積極的に参加し、地域の連帯と住みよい村づくりに貢献しています。
- 芸術文化に触れ、豊かな情操と高い想像力が養われています。



公民館 成人講座

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
5-1-1 学習機会の充実	住民が必要とする年代に応じた講座を計画的に開催します。また、親子で体験できる講座の開催や、学校教育と連携した様々な体験を通して子どもたちの健全育成を図ります。
5-1-2 生涯学習社会の実現	幼児教育、学校教育、社会教育の連携・融合を図り、幼児から高齢者までの生涯を通じた学習を推進します。
5-1-3 社会教育活動の支援	公民館分館の活発な活動を推進し、地域での連帯を醸成します。また公民館登録グループ等の自主活動を支援し、学習意欲の啓発に努めます。
5-1-4 生涯スポーツの振興	健康増進のため一人ひとりが体力にあったスポーツを楽しめるよう、地域でのスポーツ教室の開催や各種スポーツ大会を開催し普及に努めます。
5-1-5 生涯スポーツ社会の実現	高齢者や障がい者のスポーツ振興を推進し、村体育協会や総合型地域スポーツクラブと連携して誰でも生涯にわたってスポーツが楽しめる社会を実現します。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村教育大綱	R5～R9

10年後に目指す姿

- 交流学習センターゆめあるて・図書館が、村民の拠り所、憩いの場、学習の場となり、さらなる社会教育活動発展の拠点となっています。
- 既存スポーツ施設が適切に維持管理され、より有効に活用されています。



交流学習センター ゆめあるて

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
5-2-1 ゆめあるて(公民館)・図書館の利用促進	公民館登録グループへの利用呼びかけ、南信州図書館ネットワークや市町村と県による協働電子図書館(デジとしよ信州)の有効活用を推進します。
5-2-2 セミナー棟の利活用	より多くの団体に利用していただくためのPRやWi-Fiの整備など利用環境の充実を図ります。
5-2-3 スポーツ施設の整備・充実	既存施設の中には老朽化の進行が著しいものもあり、適切な維持管理と計画的な改修等を実施して施設の有効利用を図ります。また、効率的な管理を目指し指定管理者制度の導入も視野に入れ検討します。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村教育大綱	R5~R9
豊丘村学校施設等長寿命化計画	R3~R8

基本施策 5-3

指導者の確保・育成

人・つながり・教育・文化

10年後に目指す姿

- 学習者のニーズに沿った講座や教室が展開されています。
- 気楽に楽しむスポーツから、より専門性を追求する競技まで、年代を問わず生涯にわたり競技者の希望に応じてスポーツを行う機会が確保されています。
- 地域と学校の連携・協働がより深化し、地域全体で子どもを育てるという機運が高まっています。



24時間ソフトボール大会

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
5-3-1 人材登録制度の活用	講座や教室の開設にあたり、社会教育の各分野にわたり登録された人材(社会教育指導者)の有効活用を図ります。また、指導者研修等により長期的視野に立った人材の育成を行います。
5-3-2 ボランティアの育成・確保	自主的なグループ活動の場面や地域での活動、児童・生徒等を対象とした活動(コミュニティスクールの要である学校支援ボランティア等)を充実させるため、ボランティアで活動できる人材の掘り起こしを行います。
5-3-3 外部人材の活用	住民の文化・スポーツ活動の充実を図るため、また、現在推進している中学校部活動の地域移行をより円滑に行うため、外部人材の有効活用に向けた取組みを展開します。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村教育大綱	R5~R9

10年後に目指す姿

- 郷土の歴史や文化を学び、一人ひとりが郷土に対する理解を深め愛着を持ちます。
- 地区の伝統芸能や文化的行事の担い手が確保され、将来に渡って保存できる体制が構築されています。
- 地域に残る貴重な文化財の来歴や価値を学び、地域の財産として守っています。
- 村を訪れる人や未来を担う子どもたちが、地域の伝統文化や文化財に触れ、学べる機会が確保されています。



歴史民俗資料館 松尾多勢子コーナー

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
5-4-1 文化財の保護	指定文化財を地域の宝として保護するとともに、文化財等について学習することで郷土への理解と愛着を持つ心を培います。
5-4-2 歴史民俗資料館の有効利用	歴史資料の収集と展示を行い、文化財に関する情報・研究成果などの資料を提供して、学習の機会を設けます。
5-4-3 伝統文化の保存と継承	各地区を中心に行われる伝統芸能や文化的行事の担い手の育成や、保存団体等の活動を支援します。
5-4-4 文化財・伝統文化の価値の周知・情報発信・活用	指定文化財や伝統文化について、特別展等を開催し学ぶ機会の充実を図ります。また、現地に残る史跡や文化財を巡るツアー等を開催し、村を訪れる人や子どもたちが歴史に触れる機会を設けます。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村教育大綱	R5~R9

6 誰もがいきいきと安心して暮らせる地域づくり

村民の主体的な健康づくりを促すとともに、安心して医療にかかることができる体制の強化を図ります。また、誰もが地域の中で自分らしく安心して暮らしていくことができるよう、一人ひとりの個性や価値観を尊重するとともに、お互いを気にかけて、見守り、地域全体で支え合う地域づくりを推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
国保特定健診受診率	%	60	R3	62	R9	65	R14	
国民健康保険1人当たり医療費 ／月	円	25,940	R3	28,000	R9	30,000	R14	KDB(国保データベースシステム) 健診・医療・介護データから みる地域の健康課題
後期高齢者医療保険1人当たり 医療費／月	円	67,185	R3	70,000	R9	73,000	R14	//
介護保険1号認定率	%	16.9	R3	16.8	R9	16.7	R14	//
介護保険1件当たり給付費	円	73,276	R3	78,000	R9	83,000	R14	//

10年後に目指す姿

- 住民一人ひとりが主体的に健康管理に取り組み、生涯を通じて心身ともに健やかに過ごしています
- 予防可能な生活習慣病を中心に疾病の発症予防と重症化予防に努め、健康寿命が延伸し、健康格差が縮小しています。



生活習慣病予防のための栄養、食生活指導

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
6-1-1 健康意識の醸成	「自分の健康は自分で守る」という自覚や健康的な生活習慣を身につけられるよう、村民に働きかけます。
6-1-2 生活習慣病発症・重症化予防の推進	脳血管疾患や心疾患、がんの発症予防と重症化予防に重点を置き、検診受診勧奨や保健指導等の対策を推進します。
6-1-3 地域における健康づくり活動の促進	健康推進員を中心に各自治会での健康学習会を通じて、村全体の健康づくりを推進します。

個別計画

計画名	計画期間
健康とよおか21(第3次)	R6~R17

10年後に目指す姿

○医療が必要となる疾患は多岐にわたるため、近隣市町村の医療機関利用を含めて、必要な医療を安心して受けられる環境整備を進めています。



ヘルス・スクリーニング

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
6-2-1 医療従事者の確保	南信州広域連合の看護師等確保対策事業に協同し、広域的に医療従事者の確保に取り組みます。
6-2-2 安心して受診できる環境の整備	近隣市町村の医療機関利用が不可欠なため、高齢者等の交通弱者には、福祉タクシー制度の利用による受診を勧めます。また、近くで必要な医療を受けられる環境整備のために、下伊那厚生病院へ補助を行います。
6-2-3 遠隔医療・オンライン診療の整備	飯伊包括医療協議会の中で、遠隔医療・オンライン診療の体制整備を推進します。

個別計画

計画名	計画期間
-	-

10年後に目指す姿

○住民が暮らす地域での人と人とのつながりを大切にし、お互いに助け、助けられたりする相互の関係がつけられています。



「災害時住民支え合いマップ」作成作業(滝川自治会)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
6-3-1 地域支え合い体制の構築・強化	各自治会で毎年実施いただく「災害時住民支え合いマップ」づくりを定着させ、日頃から住民皆で支え合う地域を構築します。
6-3-2 権利擁護、成年後見制度の利用促進	支援を必要とする人が、成年後見制度を利用して自分らしい生活を送るために、本人の意思を丁寧にくみ取ってその生活を守り権利を擁護していきます。
6-3-3 生活困窮者自立支援	社会福祉協議会等関係機関と連携し、生活困窮者の相談、食料品等の提供、日常生活の自立、就労支援など生活困窮者に寄り添いながら切れ目のない支援をしていきます。

個別計画

計画名	計画期間
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画	R3~R5

10年後に目指す姿

- 高齢者の社会参加や介護予防への意識が高まり、世代を超えた交流が広がっています。
- 保健・医療・福祉・介護の連携強化と、見守りネットワークや生活支援等地域住民の支え合い活動の充実により、要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らせる高齢者が増えています。



高齢者等見守りネットワーク訓練

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
6-4-1 社会参加、介護予防の推進	高齢者が今まで培ってきた知識や経験、技能等を生かして、地域や社会へ積極的に参画できる場を設けたり、福祉タクシー制度の充実や、地区敬老会、住民の通いの場(サロン・ミニデイサービス)の運営を支援します。
6-4-2 地域包括ケア体制の強化	ケア会議や関係機関との連絡会を充実させ、保健・医療・福祉の連携によりニーズの把握やケース検討を行い、適切なサービスを提供します。
6-4-3 認知症施策の充実	高齢者等見守りネットワーク訓練を継続し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域における認知症理解や見守り体制の充実を図ります。
6-4-4 介護保険制度の適正な運営	要介護者のニーズに対応できる介護保険サービスの確保に努め、適正に介護保険を運営します。

個別計画

計画名	計画期間
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画	R3~R5

基本施策 6-5

障がい者福祉の充実

人・つながり・教育・文化

10年後に目指す姿

○障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に住み慣れた地域で暮らすことができる社会を実現します。



5年間の主要施策

施策名	施策の概要
6-5-1 相談支援体制の充実	障がい者本人が地域で望む生活をするうえで必要とする支援が途切れることがないよう、切れ目のないサービス体系とその時々に関わりを持つ機関との連携を強化し、分かりやすく理解しやすい相談支援体制を整えます。
6-5-2 就労・生活支援の充実	障がい者本人が望む生活スタイルを実現するため、働くこと等への不安を軽減し、挑戦しやすくするための支援策を講じます。
6-5-3 障害福祉サービスの充実	障がい者本人が住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるよう、居住の場、日中活動の場を確保します。また、権利擁護の体制を整え、障がいへの理解が深まる啓発に取り組みます。

個別計画

計画名	計画期間
障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画	R3～R5

10年後に目指す姿

○すべての人々がお互いの人権を尊重し、差別のない明るい社会が創出されています。

○男女ともに互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合いながら、個性と能力を十分に発揮しています。

○障がいや性別・性自認・性的嗜好の違い、国籍・人種・民族を理由とする差別や偏見を乗り越え、誰もが安心して生活できます。

○子どもや女性、高齢者等に対するあらゆる暴力を根絶し、誰もが安全に暮らせます。



男女共同参画事業 さんかくセミナー

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
6-6-1 人権尊重を目指す村民意識の醸成	多文化共生・人権・男女共同参画に関する情報の収集・発信と生涯学習の充実を図り、人権意識の向上に努めます。
6-6-2 男女共同参画計画の推進	男女が社会のあらゆる分野に対等に参画し、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を推進します。
6-6-3 少子・高齢化社会における福祉の充実	男女が共に担う育児、介護を実現するため、多様な子育て支援、介護サービスの充実を図ります。
6-6-4 障がい者や一人暮らし家庭への支援、男女が共に安心して暮らせる生活環境の創出	障がい者や一人暮らし家庭への支援、男女が共に自立したライフスタイルを実現できるよう、相談体制の充実を図ります。
6-6-5 あらゆる暴力の根絶に向けた取り組み	DV防止に関する啓発と早期発見に向けた支援を行い、安心して相談できる体制を確立します。

個別計画

計画名	計画期間
男女共同参画計画	R5～R9
豊丘村教育大綱	R5～R9

7 安全・安心を守る基盤整備と体制強化

災害発生時をはじめ、様々な危機が発生した際の迅速かつ適切な判断・行動がとれる体制づくりと被害を最小限に抑えるための基盤整備を推進します。また、地域ぐるみで地域の安全・安心を守るための体制の強化を図ります。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
		数値	コード	数値	コード	数値	コード	
消防団団員数	人	93	R4.4.1	93	R9.4.1	93	R14.4.1	消防団
村内死亡交通事故件数	件	0	R3	0	R9	0	R14	豊丘村警察官駐在所
村内犯罪認知件数	件	7	R3	0	R9	0	R14	防犯いいだ
自主消防組織数	団体	6	R3	8	R9	9	R14	
村道改良率	%	38.3	R3	39.0	R9	40.0	R14	
村道舗装率	%	57.6	R3	58.0	R9	58.5	R14	

10年後に目指す姿

- 住民全体に自助・共助の意識が持たれており、被災時には避難行動要支援者等への対応協力などが行える体制が取れています。
- 各地区に自主消防を中心とした自主防災組織が設置され、被災時に備えた訓練、資機材・施設の整備等が進められています。
- 安全で強靱な社会インフラ整備を行い、多様な気象条件、大規模災害等の脆弱性に対応しています。



地区防災訓練におけるAEDの講習

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
7-1-1 防災意識の醸成と安全・安心な避難の確保	災害時住民支え合いマップの作成や更新支援により、住民の防災意識の醸成を図るとともに、日頃から災害弱者の情報把握に努め、避難支援体制を強化するなど、災害時の避難体制の確立を目指します。
7-1-2 自主防災組織の充実	自主消防を中心とした、既存の自主防災組織の体制強化のための支援等を行うとともに、新たに組織整備を希望する地区には、設立・育成の援助を行います。
7-1-3 きめ細かな防災情報網の確立	既存の防災行政無線設備に合わせ、新たに導入した防災行政アプリの周知や普及促進に努め、複数の防災情報網によるきめ細かな伝達手段の確立を目指します。
7-1-4 安全・強靱なインフラの整備	道路等社会インフラの計画的な点検や修繕等を実施し、インフラの耐震化・長寿命化を進めます。
7-1-5 災害時指定避難所の整備	災害時に安全な避難が実施できるよう、各地区自主防災組織等との協議を行い、避難所運営に必要な体制づくりへの支援を行います。また、指定避難所の改修、空調設備の整備や感染症対策、備品整備等を行い、災害時に避難者が安心して生活できる環境を整えます。

個別計画

計画名	計画期間
地域防災計画	R5～(毎年度)
国土強靱化計画	R3～R7

10年後に目指す姿

- 住民全体に、自らの生命・財産及び郷土は自分たちで守るという、防火意識の高揚が図られています。
- 消防団と自主消防組織の連携が図られ、互いの協力のもとに消防体制が確立されています。



消防団訓練

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
7-2-1 消防団体制の強化	消防団員の確保に向けて、村・団・地域が一体となった勧誘活動を行うとともに、村民の協力意識の高揚を図ります。
7-2-2 消防団体制の見直し	消防団員の待遇改善や負担軽減に配慮しつつ、福利の充実や活動内容の見直しを行います。また、機能別消防団員等の採用についても検討・研究を行います。
7-2-3 消防設備の充実	より安全で、取扱が容易な器具・機材への更新や、維持管理が容易な防火水槽等への更新を計画的に進めます。
7-2-4 自主消防組織の強化	昼間等の緊急出動体制の充実を目的として、各地区の自主消防組織の強化を行い、更なる消防団との連携を図ります。

個別計画

計画名	計画期間
地域防災計画	R5～(毎年度)

10年後に目指す姿

- 住民全体が防犯に関心を持ち、団結することで犯罪を起こさせない地域づくりが行われています。
- 地域における目配り・声かけなどや、関係機関との連携による防犯活動の充実が図られています。
- 幼児から高齢者まで一貫した交通安全教育のもと、交通安全意識の高揚と、交通マナーの向上が図られています。
- 特殊詐欺に合わないための知識を各自身に着け、日頃から警戒心を持って生活しています。



LED化された防犯灯



交通安全協会による啓発活動

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
7-3-1 防犯体制の強化	関係団体との連携を図り、緊急情報メール等の積極的な活用により、適切な注意喚起を行うなど、迅速・確かな情報発信に努めます。
7-3-2 防犯活動の推進	あいさつの励行などにより、地域の連帯感を強め、防犯体制の強化を行います。また、青色回転等装備車両等を活用した自主防犯パトロール活動等の充実を図ります。
7-3-3 街路灯・防犯灯の整備	概ね必要な箇所への設置が完了している街路灯や防犯灯について適正な維持管理を行うとともに、防犯灯については従来型電灯のLED化を進めます。
7-3-4 交通安全教育・運動の推進	交通安全推進協議会を開催し、各種団体や機関が連携した交通安全運動への取り組みを行うとともに、各種交通安全教室の開催や街頭指導等を行います。
7-3-5 交通安全施設等の整備・改善	土木申請や通学路危険箇所改善要望などを受け付け、交通標識設置や道路改良など交通安全施設整備を推進し、信号機・横断歩道などの設置については、県関係機関等への積極的な要望を行います。
7-3-6 特殊詐欺防止対策の推進	特殊詐欺の被害防止のため、冊子やパンフレット等を配布して注意喚起を促します。また、特殊詐欺に関する情報共有に努めます。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

8 快適かつ自然と共生した生活環境の整備

村民が利便性が高い環境を享受し、快適に暮らしていけるよう、住環境や公共交通、上下水道等の基盤整備を計画的に推進するとともに、豊丘村の豊かな自然と美しい景観を守り、その恩恵を享受しながら、共に暮らしていくことができる環境づくりを村全体で推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
人口に対する村営バス年間利用者数の割合(年間延利用者数/人口)	%	130.0	R3	135.0	R9	140.0	R14	豊丘村地域公共交通会議
家庭系ごみ年間排出量	t	1,032	R3	1,021	R9	1,011	R14	第2次豊丘村環境基本計画
水道有収率	%	83.0	R3	87.0	R9	90.0	R14	
汚水処理人口比率	%	98.6	R3	98.6	R9	98.8	R14	水資源・資源循環のみち
一般住宅等太陽光発電システム設置数	件	17	R3	20	R9	24	R14	
一般住宅等蓄電システム設置数	件	16	R3	20	R9	24	R14	

10年後に目指す姿

- 村内下段に集中する主要施設への往来や、中核都市である飯田市への交通手段として、公共交通が確保されています。
- 通学等による高校生や、高齢者をはじめとする多くの交通弱者の皆さんに、公共交通が利用されています。
- 村営路線バスと福祉タクシーとの連携により、住民移動の円滑化や効率化が図られています。



村営バス(道の駅バス停)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
8-1-1 公共交通機関の利用促進と研究	利用者のニーズに即した路線の見直しやダイヤ改正等を行います。また、リニア中央新幹線長野県駅(仮称)の開設に伴う公共交通のあり方について、研究を進めます。
8-1-2 交通弱者等への対応	高齢者乗降無料パスの制度周知や、高校生等の通学時利用促進のためのPR活動を継続して行います。
8-1-3 村内交通手段の充実	村営路線バスと福祉タクシーの役割について整理し、それぞれの特性を生かしながら一体的な交通対策となるよう検討・研究を進めます。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村地域公共交通確保維持改善計画	R5～(毎年度)

10年後に目指す姿

- 水道事業は、水道施設更新事業が進み安定した水道水の供給ができています。
- おいしい水の研究により水質の向上が図られています。
- 下水道事業は、中長期の長寿命化更新事業を終え、安定した汚水処理が行われています。
- 上下水道事業の経営戦略を改定し、持続可能な事業の推進が図られています。



水道管更新工事

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
8-2-1 安定した水道水の供給	耐用年数40年を経過した水道管の更新を進めるとともに新配水池の建設・主要な配水池の耐震化を図ります。
8-2-2 おいしい水研究プロジェクト	産学官(県内水道事業者・信州大学・県企業局)の連携により、水道水の水質分析や新たな活水器の実証実験を行い、水質の向上を図ります。また、令和2年度までに設置した活水器の検証を引き続き行っていきます。
8-2-3 汚水処理の安定化	下水道事業計画の策定を行い、現在の処理能力を検証します。また豊丘浄化センターの中期長寿命化更新工事を実施し、安定した汚水処理を図ります。
8-2-4 公営企業 持続運営化事業	定期的に経営戦略を改定し、事業の実態を再検証することにより、計画的に設備・管路の更新・修繕を実施することで持続可能な運営を図ります。また、経営戦略を基に適切な料金・使用料改定を行い、営業基盤の強化を図ります。

個別計画

計画名	計画期間
水道事業 経営戦略	R元~R10
下水道事業 経営戦略	R3~R12

10年後に目指す姿

- 2050年脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入と、その電力の活用が進み、ゼロエネルギーハウス（ZEH）や電気自動車（EV）等が急速に普及しています。
- 資源循環の新たな法律などにより、ごみの分別と3R（リデュース・リユース・リサイクル）が更に進み、国内・地域での資源循環量が増加しています。
- 発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない、太陽光発電など再生可能エネルギー設備の設置が、個人または企業の標準設備として拡大しています。



5年間の主要施策

施策名	施策の概要
8-3-1 脱炭素への取組みの推進	脱炭素社会の実現に向けた広報や講習会などを村民・企業向けに実施し、意識の醸成を図るとともに、「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定し、二酸化炭素排出量の削減を推進します。
8-3-2 ごみ減量・リサイクルの推進	ごみ分別の徹底と、小型家電リサイクル法やプラスチック資源循環促進法による資源循環と再商品化を図り、ごみの減量とリサイクルを推進します。
8-3-3 再生可能エネルギーの活用	太陽光発電及び蓄電設備設置への補助制度により再生可能エネルギーの活用を推進するとともに、山林や農地への太陽光発電設備の設置を許可制とし適正に管理します。

個別計画

計画名	計画期間
第2次豊丘村環境基本計画	R5～R9
豊丘村地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	R4～R8

10年後に目指す姿

○除間伐などで整備された里山が増え、耕作された農地と調和した農山村風景が広がっています。

○利活用できない特定空き家の解体が進み、活用できる空き家は、移住者を中心に居住利用が盛んになっています。

○農地は新規就農者となる地域おこし協力隊の農業研修生や、農業法人による大規模営農によって維持され、遊休農地は減少しています。

○脱炭素社会やSDGsに対する住民意識の高まりにより、住民や企業など様々な団体規模で環境美化活動が行われています。



地区住民による小規模竹林の整備

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
8-4-1 自然と調和した景観形成の促進	各種補助事業等により里山整備を推進し、農地の耕作を維持するなどして、自然と調和した景観形成を促進します。
8-4-2 空き家・遊休農地対策の推進	利活用できない特定空き家の解体を進めるとともに、空き家対策と移住定住対策による空き家の管理と利活用を推進します。また、各種補助事業等による農地の維持と合わせ、新規就農者の確保により農地の需要を高めて、遊休農地対策を推進します。
8-4-3 環境美化活動の推進	広報等による環境問題や施策の周知により、住民意識の醸成を図り、環境美化活動を推進します。

個別計画

計画名	計画期間
豊丘村空き家等対策計画	R4~R8

9 コミュニティの強化と協働・連携の推進

各地区の主体的な活動を促進し、「地域のことは住民自身で守る」意識を醸成するとともに、コミュニティ組織をはじめ地域団体の活性化と活動を牽引する人材の育成を図ります。特に、人口減少が進む山間地におけるコミュニティ活動の維持に努めます。併せて、住民、地域、企業、行政等の多様な主体が連携・協力して活動するためのネットワークづくりを推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
山間地域(堀越区、田村区のうち長沢・笹久保自治会、佐原地区、福島区、壬生沢区)の人口	人	782	R5.1.1	760	R9.1.1	750	R14.1.1	住民基本台帳
自治会加入割合	%	88.8	R4	90.0	R9	95.0	R14	村資料

10年後に目指す姿

- 村民皆が自治組織（区・自治会・隣組）に加入し、緩やかにつながりを持ちながら、むらづくりの担い手として主体的に活動しています。
- 核家族化の進展、土・日曜日が休日でない住民の増加、リニア開業による都市部からの転入者の増加等により村民の価値観が多様化する中、時代に合わせ、自治組織のあり方が見直されています。
- 高齢化や若年層の流出が進む中山間地においては、道づくり等共同作業の負担軽減や公費による支援がなされ、地区のコミュニティが維持されています。



コミュニティの拠点である区民会館(河野区民会館)

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
9-1-1 コミュニティ施設整備に対する支援	村民のコミュニティの拠点となる区民会館、自治会会所等の施設の修繕・更新、備品整備等に対し、補助金を交付し支援します。
9-1-2 村民の地域づくり活動に対する支援	村民自らが主体的に行う地域づくり活動、防災、環境整備、伝統芸能等に対し、補助金を交付し支援します。また、各区・地区の地域計画の改定等に対し地区担当の村職員を配置し支援します。
9-1-3 新たな自治コミュニティのあり方の検討	時代の変化に合わせ、価値観が多様化する中でも、移住者を含め、誰もが無理なく参画できるよう、自治組織の活動や行事のあり方について検討します。
9-1-4 中山間地域のコミュニティ維持に向けた検討	高齢化や若年層の流出が進む中山間地域のコミュニティ維持のための方策について検討します。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

10年後に目指す姿

- 村内、各地区に趣味等のグループが組織され、活発に活動が行われ、住民同士が緩やかにつながる機会となっています。
- 若者、中堅世代、高齢者等、同じ年代でつながるグループが組織され、主体的な地域づくり活動を行っています。
- これら各種グループ同士が連携・交流し、意見交換を行いながら有機的につながり、むらづくりの活動を進めており、他から注目される活力あふれる地域となっています。



リニアの時代のむらづくりを考えるシンポジウム

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
9-2-1 趣味等のグループに対する支援	趣味等のグループの立ち上げの際、補助金を交付し支援します。
9-2-2 若者、中堅世代の活動支援	若者や社会の中核を担う中堅世代が、主体的にむらづくり活動に取り組めるような機会をつくれます。
9-2-3 各種団体同士の連携・交流 機会の創設	各種団体・グループが交流・意見交換等を行う機会をつくれます。その際、SNS等も積極的に活用します。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

10年後に目指す姿

- 村民皆が「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識をもち、各自可能な範囲で地域活動に積極的に取り組んでいます。
- 行政からの情報は、時代に合わせた各種媒体（広報誌、防災行政アプリ、ホームページ、SNS、CATVなど）により、あらゆる年代に伝わっています。
- 村長と住民が直接意見交換する機会（村長としゃべらまい会）やパブリック・コメント、SNS等により、行政が村民の意見・要望を取り入れる機会が用意され、村民が積極的に意見を寄せています。



有線放送の代替手段として新たに構築した防災行政アプリ

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
9-3-1 事業に対する村民参画の推進	村が行う各種事業の企画・計画の段階から、実行委員等になっていただくことにより、村民の参画を推進します。
9-3-2 村民の地域づくり活動に対する支援	村民自らが主体的に行う地域づくり活動、防災、環境整備、伝統芸能等に対し、補助金を交付し支援します。
9-3-3 広報活動の充実	村広報誌だけでなく、時代に合わせたあらゆる媒体（ホームページ、CATV、防災行政アプリ、SNS等）を活用し、村民に行政情報を提供します。
9-3-4 広聴活動の充実	村民の意見を施策に反映させるため、パブリック・コメント、村長と住民が直接意見交換する機会（村長としゃべらまい会）、SNS等を活用し、積極的に広聴の機会を設けます。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

10 戦略的なむらづくりの推進

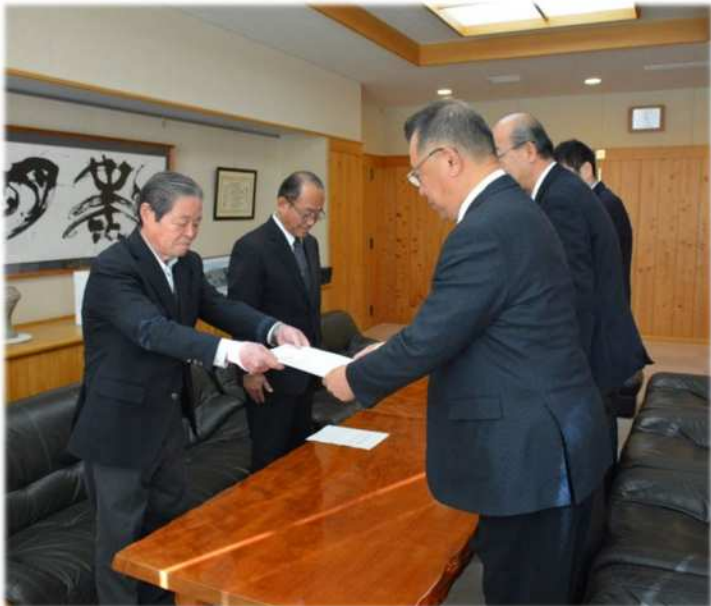
中長期的な視野に立ち、将来像の実現にむけて、安定的な財源を確保しつつ、健全財政を維持しながら、効果的かつ効率的な施策・事業を着実に推進できる体制の強化としくみの構築を図ります。また、村全体で目指す将来像や地域課題を共有しながら、村民をはじめ、多様な主体が積極的にむらづくりに参画する地域づくりを推進します。

【成果指標】

指標	単位	基準値		中間目標値		最終目標値		出典等
実質公債費比率	%	9.6	R3決算	9.3	R9決算	9.0	R13決算	
将来負担比率	%	— (数値なし)	R3決算	— (数値なし)	R9決算	— (数値なし)	R13決算	
電子申請可能な手続き	件	10	R3	15	R9	20	R13	
村と住民の意見交換会 (村長としゃべらまい会)等 参加者数	人	176人 (9回開催)	R3	240人 (12回開催)	R9	300人 (15回開催)	R14	村資料

10年後に目指す姿

- 変化が激しく数年先が見通せないような時代の中であっても、社会の変化に柔軟に対応しながら、政策目的に対応した効果的かつ効果的な施策・事業が展開されています。
- 施策の実施に当たっては、事業効果、緊急性等を考慮した優先順位の決定がなされ、メリハリを持った財源配分が行われています。
- 公共施設が効率的に管理・運営されているほか、施設の修繕が計画的に実施され長寿命化が図られています。役割を終えた施設は、払下げ、取壊し、統廃合等がされ、整理されています。
- DXが浸透し、多くの行政手続き、証明書の発行等が電子申請により可能な環境が構築されています。



行政評価委員会による意見書の提出

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
10-1-1 行政評価の実施	行政評価システムにより、村が行う施策・事務事業の評価を毎年度行い、村民・有識者で構成される行政評価委員会の意見を取り入れることで、施策を改善していきます。
10-1-2 公共施設等の効率的運営	公共施設の運営に当たっては民間のノウハウを活用するため指定管理者制度を積極的に導入します。また、「公共施設等総合管理計画」に基づき公共施設の更新、長寿命化、統廃合等を実施します
10-1-3 自治体DXの推進	行政手続き、証明書発行等が電子申請により可能となるような環境を構築します。また内部事務についてもDX化を進めます。

個別計画

計画名	計画期間
公共施設等総合管理計画	H29～R8

10年後に目指す姿

- 補助事業や有利な起債の活用、将来を見据えた基金への計画的な積立等より、健全財政が維持されています。
- 企業誘致等や税収納率の向上により、これまでと同じ水準の税収が確保されています。
- 地元産の高品質な果物を返礼品とするふるさと納税について、現在と同じ寄附額が確保されています。



ふるさと納税の返礼品 桃

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
10-2-1 補助事業、有利な起債の活用	国・県補助事業や交付税措置のある有利な起債を有効に活用し、特定財源の確保を図ります。
10-2-2 基金への計画的積立	基金への計画的な積立を行い、将来の財政需要に備えます。
10-2-3 税収納率の向上	コンビニ収納、キャッシュレス決済等納税者の利便性向上を図るほか、困難案件の地方税滞納整理機構への移管等による収納率の向上を図ります。
10-2-4 ふるさと納税の推進	JA等と連携し、返礼品として高品質な果物の数量を確保することで、現在の寄附額を維持します。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

10年後に目指す姿

○地方自治の新時代に的確に対応するため、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるよう体制の強化が図られています。

○各職員の資質のより一層の向上が図られるとともに、その有している可能性・能力が最大限引き出されています。



リニアを見据えた北部まちづくり構想 中学生座談会

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
10-3-1 職員研修の実施	職員研修の柱となる、職場研修・職場外研修・自己啓発を、内容に応じて効果的に組合せ、総合的な能力開発が行われるよう研修を実施します。
10-3-2 人事評価の有効活用	人事評価制度における業務目標の設定とその評価を行うことにより、事務事業を効率的・効果的に進め、職員の士気の高揚と創意工夫を促します。
10-3-3 民間人材の登用・活用の検討	行政の高度化・多様化などが進展する中で、変化に的確に対応するため、庁内育成だけでは得られない専門的な業務等において、民間人材の登用・活用などを検討します。
10-3-4 柔軟な組織体制の検討・構築	少子高齢化の進展に伴う、定年引上げの実施による高齢期職員の活用もふまえ、柔軟な組織体制の検討と構築を行います。

個別計画

計画名	計画期間
—	—

10年後に目指す姿

○リニア開業等により、市町村の枠を超え取り組む課題が増加していますが、南信州広域連合、下伊那北部総合事務組合等の枠組みを有効に活用し、広域的に取り組まれています。



三遠南信サミットにおける豊丘村の紹介

5年間の主要施策

施策名	施策の概要
10-4-1 広域連合等による連携	広域で連携して対処すべき課題は、飯田下伊那郡14市町村で構成される南信州広域連合、下伊那北部5市町村で構成される下伊那北部総合事務組合、飯田市を中心市とする定住自立圏形成協定の枠組みを活用し、協調して取り組んでいきます。
10-4-2 広域事業の推進	リニア長野県駅(仮称)周辺の開発、航空宇宙産業の振興、大学誘致、雇用対策、移住定住、観光振興等について広域的な連携により推進します。

個別計画

計画名	計画期間
—	—



第6次豊丘村総合振興計画

2023~2032
(R5~R14)

もっと ずっと ともに とよおか